

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-9

< 第41週 > 伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向  
< 9月 > 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について



注目すべき感染症

< 今週は該当記事はありません >



病原体情報  
P.10-13

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン / 感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年



速報  
P.14

複数の福祉施設が関係したノロウイルスGIIの集団感染事例 - 山梨県



海外感染症情報  
P.15-16

コートジボワールで黄熱患者発生 / ケニアでポリオ患者発生 / インドでのチクングニア流行



感染症の話  
P.17-20

< 住血吸虫症 >

ヒトが河、湖、沼などの淡水に入っ  
て感染し、わが国では輸入感染症  
としての重要性が高まりつつある



読者のコーナー  
< 今週は該当記事は  
ありません >



グラフ総覧(41週)  
P.21-27



グラフ総覧(9月)  
P.28-32



9月のデータ  
P.33-36



41週のデータ  
P.37-48



# 発生動向総覧

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

## < 第41週コメント > 10月19日集計分

### 全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

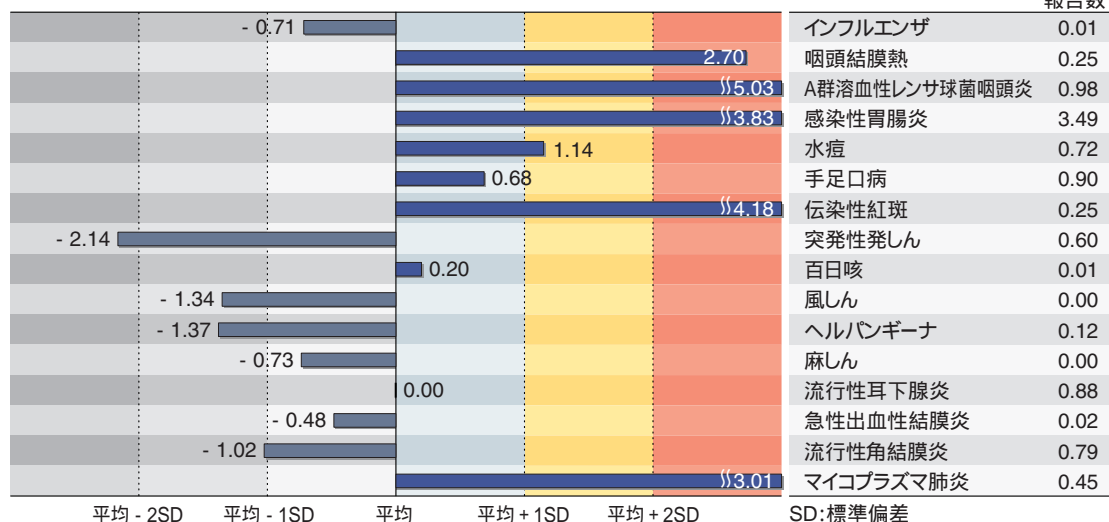
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢 6例  
〔感染地域: 国内( 都道府県不明 )1例、中国2例、インド1例\*、ラオス1例、パキスタン1例〕\*コレラ( 第40週診断 )と重複感染
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 59例( うち有症者34例、HUSなし、死亡なし )  
感染地域: 国内57例、中国2例( うち香港1例 )  
国内の多い感染地: 神奈川県( 8例 )、北海道( 6例 )、山形県( 5例 )、福岡県( 5例 )  
年齢群: 10歳未満( 14例 )、10代( 7例 )、20代( 13例 )、30代( 12例 )、40代( 3例 )、50代( 6例 )、60代( 3例 )、70歳以上( 1例 )  
血清型・毒素型: O157 VT2( 26例 )、O157 VT1・VT2( 14例 )、O111 VT1( 5例 )、O26 VT1( 4例 )、O26 VT1・VT2( 2例 )、O153 VT1( 2例 )、O157 VT1( 2例 )、その他/不明( 4例 )
- 4類感染症: A型肝炎 1例( 感染地域: 大阪府 )  
オウム病 1例( 感染地域: 東京都、感染源: 不明 )  
デング熱 1例( 感染地域: バングラデシュ )  
日本脳炎 2例( 感染地域: 福岡県1例、熊本県1例、40代1例、60代1例 )  
マラリア 2例 四日熱1例\_\_感染地域: ウガンダ  
熱帯熱1例\_\_感染地域: パプアニューギニア  
レジオネラ症 6例( すべて肺炎型 )  
年齢群: 50代2例、60代2例、70代2例  
感染地域: 愛知県2例、岩手県1例( 温泉 )、宮城県1例、富山県1例、台湾1例
- 5類感染症: アメーバ赤痢 4例( 腸管アメーバ症3例、腸管外アメーバ症1例 )  
感染地域: 国内3例、ペルー1例  
感染経路: 経口1例、経口/性的接触( 異性間 )1例、性的接触( 異性間 )1例、不明1例
- ウイルス性肝炎 6例  
すべてB型〔感染経路: 性的接触( 異性間 )3例、不明3例〕
- 急性脳炎 1例( マイコプラズマ、10代 )
- クリプトスポリジウム症 1例( 感染地域: インド )
- クロイツフェルト・ヤコブ病 2例  
( 孤発性プリオン病古典型1例、遺伝性プリオン病家族性1例 )
- 後天性免疫不全症候群 15例( 無症候8例、AIDS 5例、その他2例 )  
感染地域: 国内11例、米国1例、台湾1例、国内/ナイジェリア1例、国外( 国不明 )1例  
感染経路: 性的接触13例( 異性間2例、同性間9例、異性間/同性間2例 )、静脈薬物使用/性的接触( 異性間 )1例、不明1例
- ジアルジア症 2例〔感染地域: 国内1例、国外( 国不明 )1例〕
- 梅毒 5例( 早期顕症I期1例、早期顕症II期1例、晩期顕症1例、無症候2例 )
- 破傷風 4例( 50代1例、60代2例、70代1例 )
- バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例  
( 遺伝子型: VanA 1例\_\_菌検出検体: 血液、遺伝子型: 不明1例\_\_菌検出検体: 血液 )

( 補 )他に報告遅れとして、コレラ1例( 感染地域: インド )、細菌性赤痢3例( 中国2例、インド1例 )などの報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関( 定点 )から報告され、疾患により小児科定点( 約3,000カ所 )、インフルエンザ( 小児科・内科 )定点( 約5,000カ所 )、眼科定点( 約600カ所 )、基幹定点( 約500カ所 )に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較( 第41週 )



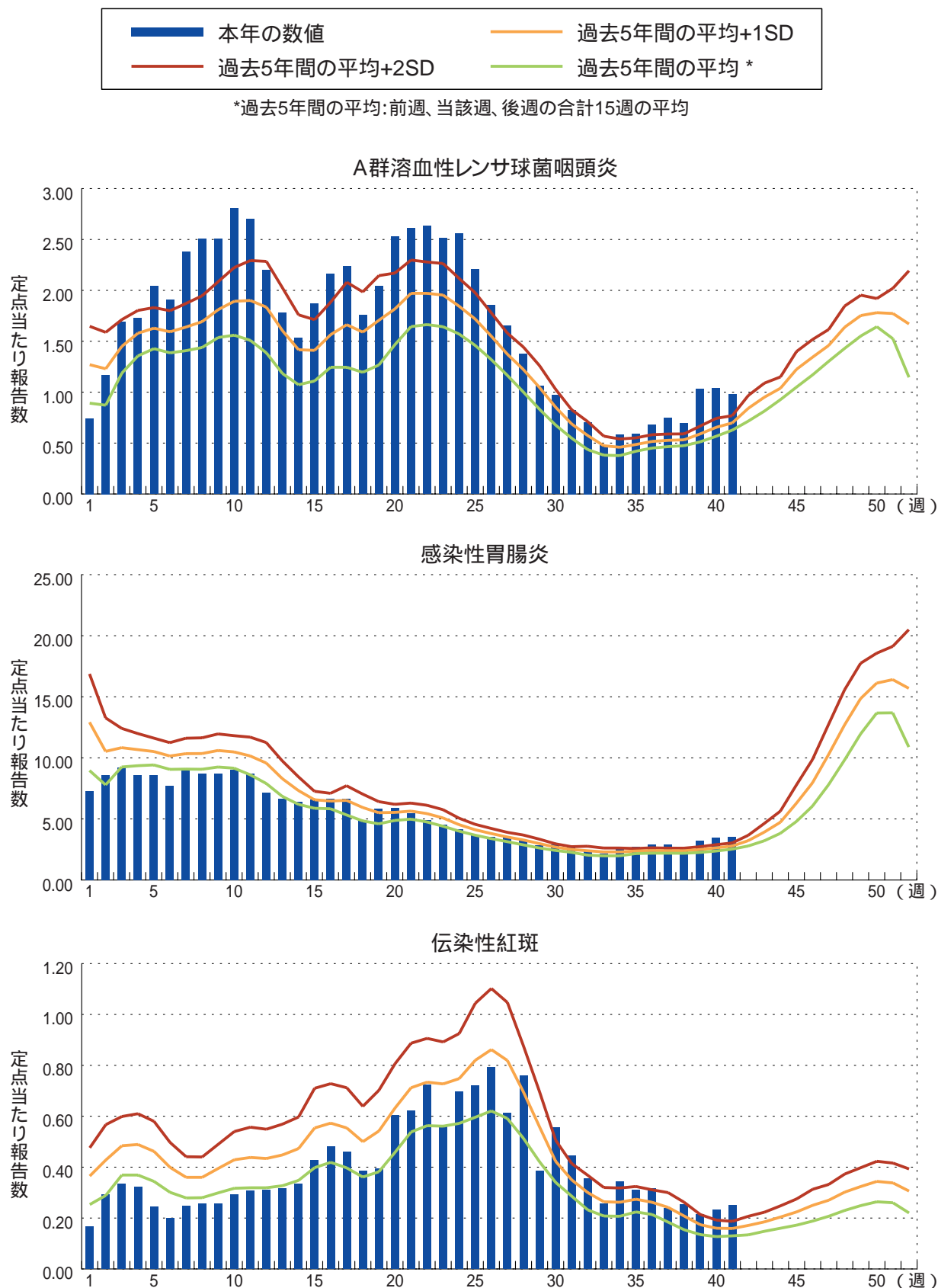
当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 )との差をグラフ上に表現した。

**インフルエンザ** : 定点当たり報告数は微減した。都道府県別では大分県( 0.17 )、岐阜県( 0.06 )、沖縄県( 0.03 )が多い。

**小児科定点報告疾患** : RSウイルス感染症は136例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の71%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第37週以降、減少が続いているが、過去5年間の同時期( 前週、当該週、後週 )と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では三重県( 1.07 )、大分県( 0.83 )、秋田県( 0.74 )が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では、福島県( 2.1 )、鳥取県( 2.0 )、山形県( 1.9 )が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では鳥取県( 10.9 )、熊本県( 7.9 )、大分県( 7.6 )が多い。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では群馬県( 1.4 )、宮崎県( 1.4 )、徳島県( 1.4 )が多い。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では石川県( 2.8 )、長野県( 2.6 )、新潟県( 2.3 )が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では栃木県( 0.52 )、愛知県( 0.45 )、宮城県( 0.44 )が多い。百日咳の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では福井県( 0.09 )、奈良県( 0.09 )、千葉県( 0.05 )が多い。風しんの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では秋田県( 0.03 )、宮城県( 0.02 )、栃木県( 0.02 )、兵庫県( 0.02 )が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第28週以降、減少が続いている。都道府県別では宮城県( 0.64 )、山梨県( 0.33 )、秋田県( 0.32 )、福島県( 0.31 )が多い。麻しんの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では滋賀県( 0.06 )、秋田県( 0.03 )、千葉県( 0.02 )、愛知県( 0.02 )が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では新潟県( 4.0 )、長野県( 2.1 )、鹿児島県( 2.0 )が多い。

**基幹定点報告疾患** : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大阪府( 2.3 )、沖縄県( 1.7 )、青森県( 1.3 )が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較( 2006年第1 ~ 41週 )  
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



## 9月コメント

### 性感染症について( 10月11日集計分 ) 性感染症定点数 : 951

#### 月別推移

2006年9月の月別定点当たり報告数は、性器クラミジア感染症が2.88( 男1.25、女1.64 )、性器ヘルペスウイルス感染症が0.93( 男0.36、女0.57 )、尖圭コンジローマが0.59( 男0.33、女0.26 )、淋菌感染症が1.19( 男0.95、女0.24 )で、男女とも4疾患のうち、性器クラミジア感染症が最も多かった( 図1 )。

前月に比べると、性器クラミジア感染症は男性で横ばい、女性で減少、性器ヘルペスウイルス感染症は男性で微減、女性で微増、尖圭コンジローマは男性で微減、女性で増加、淋菌感染症は男女ともに横ばいであった( 28 ~ 31ページ「グラフ総覧」参照 )。

男女別に過去5年間の同時期と比較すると、性器クラミジア感染症では男女ともに平均-2標準偏差( SD )を下回り、淋菌感染症では男性が平均-2SDを、女性が平均-1SDを下回った( 図2 )。

図1. 各性感染症が総報告数に占める割合( 9月 )

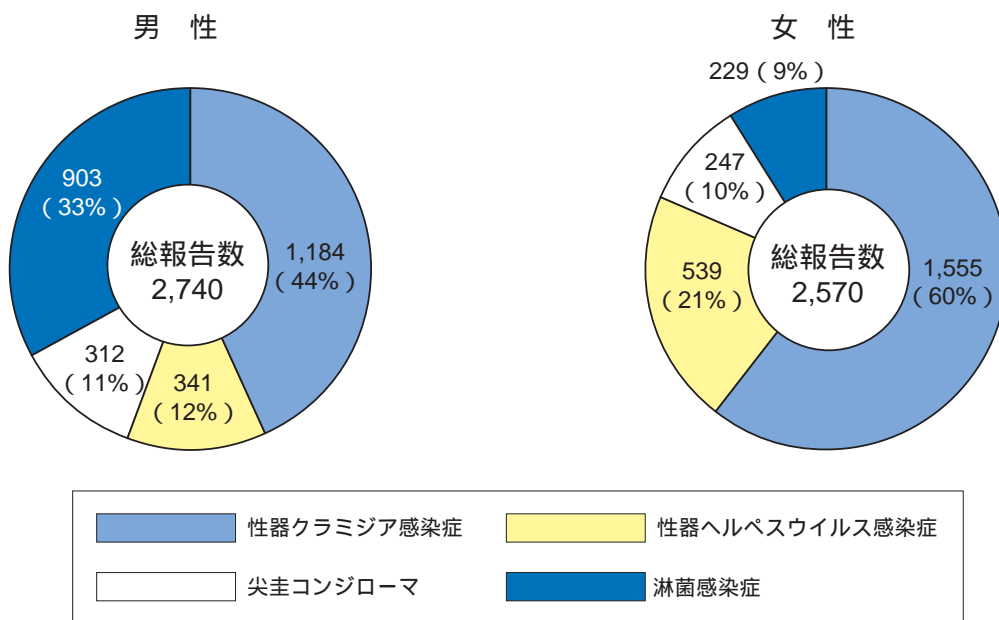
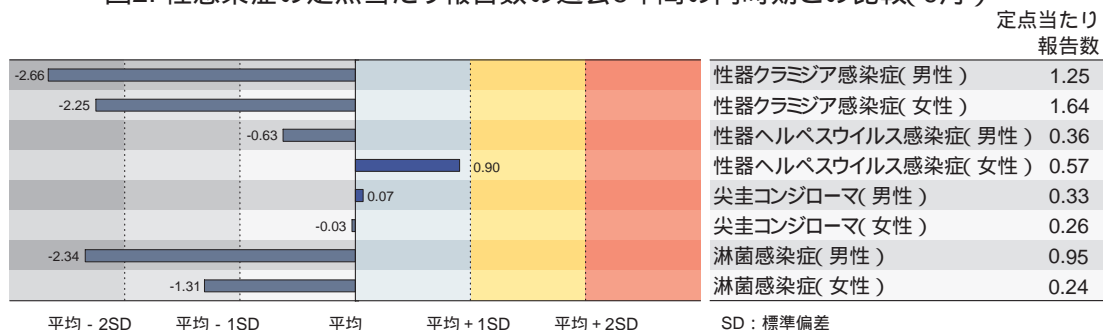


図2. 性感染症の定点当たり報告数の過去5年間の同時期との比較( 9月 )



当該月と過去5年間の平均( 過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均 )との差をグラフ上に表現した。

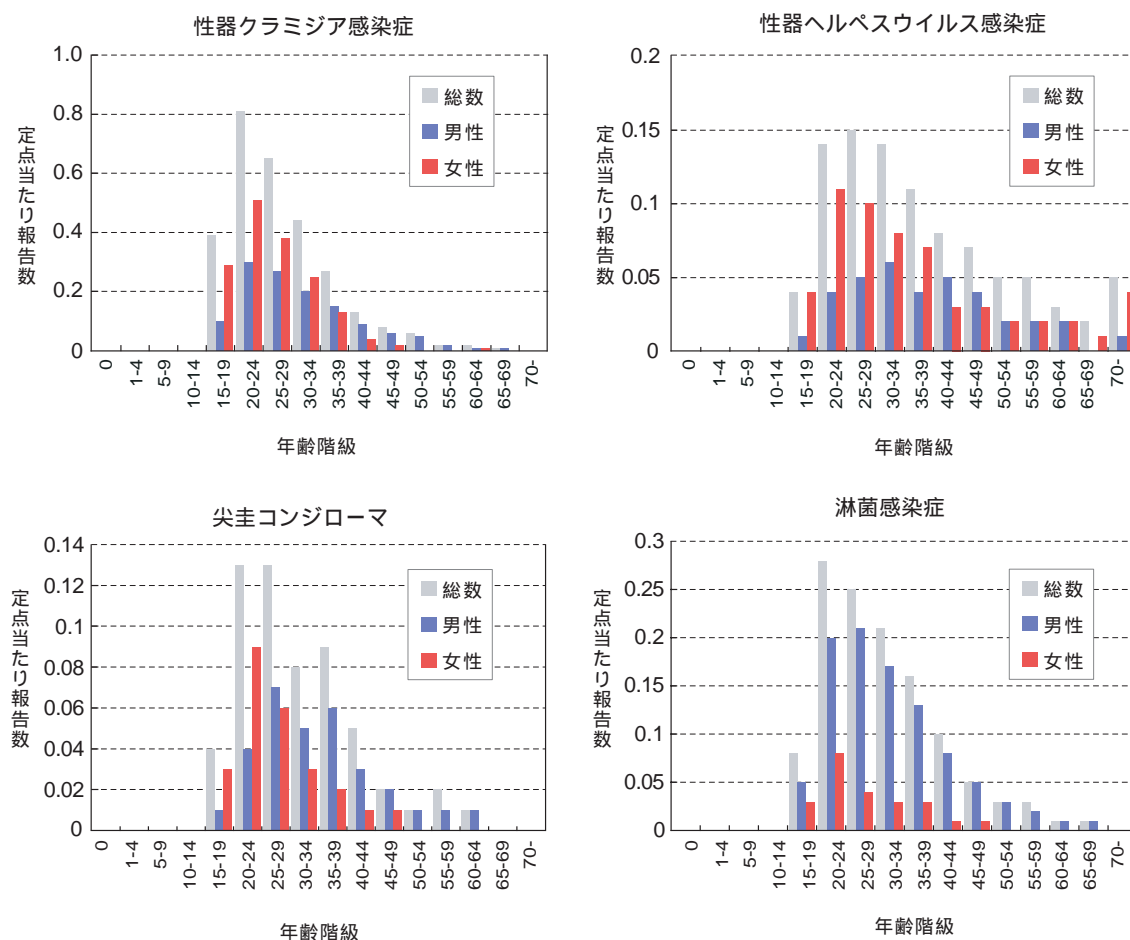


男女別・年齢階級別

年齢群でみた定点当たり報告数のピークは、女性では4疾患すべてにおいて20～24歳群であったが、男性では性器クラミジア感染症が20～24歳群、性器ヘルペスウイルス感染症が30～34歳群、尖圭コンジローマと淋菌感染症が25～29歳群であり、男性に比べて女性の方がやや若い傾向が認められた( 図3 )。性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症では男女ともに、ピーク以降、年齢が高くなるに従い減少傾向が認められ、50代以降の報告は僅かである。しかし性器ヘルペスウイルス感染症では、男女ともに50代以降の年齢群の報告も少なくない。

年齢群でみた男女の比較では、淋菌感染症では全ての年齢群において男性が女性よりも多いが、性器クラミジア感染症の15～34歳、性器ヘルペスウイルス感染症の15～39歳と65歳以上、尖圭コンジローマの15～24歳では女性が男性より多かった。ただし、性感染症定点は泌尿器科系、婦人科系及び皮膚科系などの診療科から構成されるが、男女の比較についてはそれらの比率の影響を受ける可能性がある。

図3. 性感染症の性別・年齢階級別分布( 9月 )

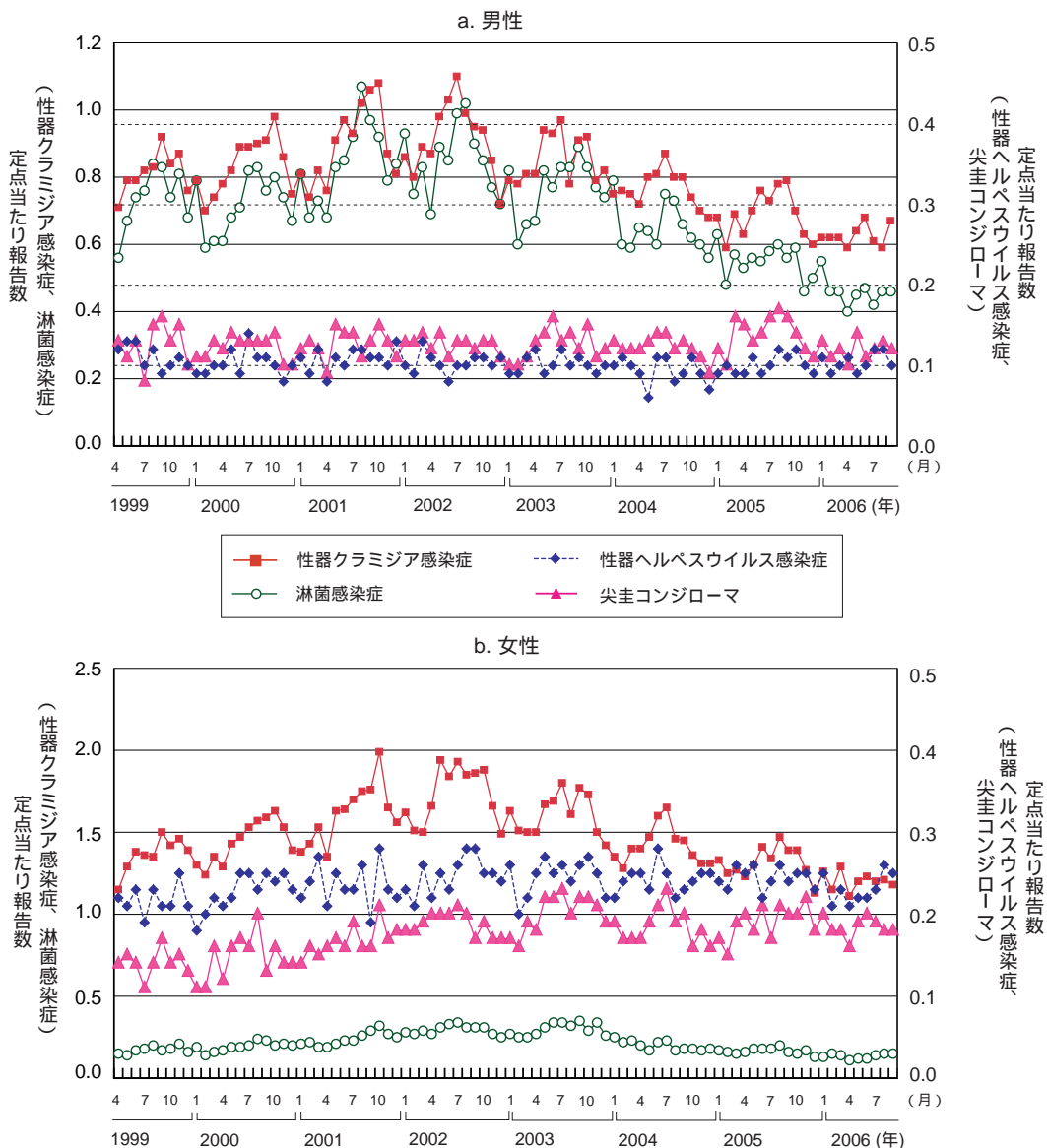


若年齢層での推移

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層( 15 ~ 29歳 )における各疾患の定点当たり報告数を男女別・月別に図4に示した。2001年以降、男女ともに性器クラミジア感染症と淋菌感染症は減少傾向がみられ、性器ヘルペスウイルス感染症と尖圭コンジローマはほぼ横ばいの傾向である。前月との比較では、男性では性器クラミジア感染症は増加し、淋菌感染症は同値で、性器ヘルペスウイルス感染症と尖形コンジローマは減少した。女性では尖圭コンジローマと淋菌感染症は同値であったが、性器クラミジア感染症と性器ヘルペスウイルス感染症は減少した。

注：本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点の構成に基づく制限のもとに解釈する必要があります。詳細は、IDWR週報2000年第46週号( 10月報 )4ページの説明を参照してください。

図4. 若年齢層における性感染症の年別・月別推移  
( 15 ~ 29歳、1999年4月 ~ 2006年9月 )



## 薬剤耐性菌感染症について( 10月11日集計分) 基幹定点数( 9月 ): 454

### 月別

#### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌( MRSA )感染症

4.01( 前月: 4.35、前年同月: 3.64 )

定点当たり報告数は、例年年間を通じてほぼ一定である。9月は前月より減少し、過去7年間の同月との比較では最も多かった。

#### ペニシリン耐性肺炎球菌( PRSP )感染症

0.49( 前月: 0.66、前年同月: 0.61 )

定点当たり報告数は、例年春から初夏にかけて( 4~6月)と冬( 11、12月)に多く、夏( 7~9月)に少なく推移している。9月は前月より大幅に減少し、過去7年間の同月との比較では低位に属した。

#### 薬剤耐性緑膿菌感染症

0.16( 前月: 0.16、前年同月: 0.16 )

定点当たり報告数は、例年後半が前半に比してわずかに多い傾向がある。9月は前月と変わりなく、過去7年間の同月との比較では上位に属した。

### 年齢階級別

MRSA感染症...高齢者に多く、70歳以上が全体の59%を占めている( 図1 )。

PRSP感染症...小児と高齢者に多い。5歳未満が全体の51%を占める一方、65歳以上が全体の29%を占めている( 図2 )。

薬剤耐性緑膿菌感染症...高齢者に多く、70歳以上が全体の66%を占めている( 図3 )。

### 性別( 女性を1として算出した男女比 )

MRSA感染症...男 : 女 = 1.6 : 1

PRSP感染症...男 : 女 = 1.4 : 1

薬剤耐性緑膿菌感染症...男 : 女 = 2.0 : 1

### 都道府県別

MRSA感染症...定点当たり報告数は栃木県( 9.1 )、福島県( 7.7 )、山口県( 6.8 )が多い。

PRSP感染症...定点当たり報告数は千葉県( 3.7 )、富山県( 3.2 )が突出して多く、富山・千葉県は過去半年にわたり上位1、2位であった。ついで沖縄県( 1.4 )が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症...報告総数が71件にとどまるため、都道府県別定点当たり報告数の評価は困難。

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

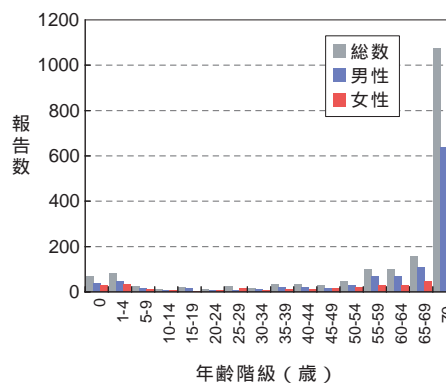


図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

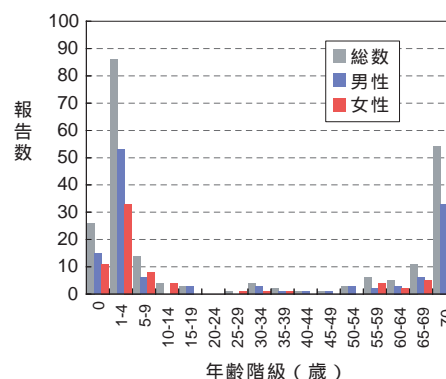
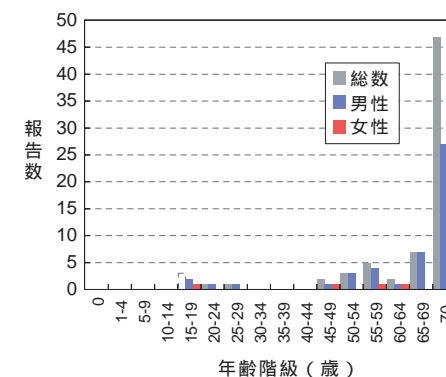


図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症





## 結核サーベイランス月報( 10月24日集計分 )

9月の新登録患者数は2,059人( 男性1,320人、女性739人 )で、このうち活動性肺結核患者は1,655人( うち喀痰塗抹陽性者は811人 )であった。都道府県・政令指定都市別の新登録患者数は、東京都( 239人 )、大阪府( 大阪市を除く ) 130人、大阪市( 121人 )、埼玉県( さいたま市を除く ) 95人、千葉県( 千葉市を除く ) 86人 )が多い。

また、別掲により集計されているマル初者数\*は163人であった。

\*マル初者...結核の感染が強く疑われるが発病はしておらず、発病予防のための内服を行っている者。

詳しいコメントは、結核研究所の結核発生動向調査結果報告( <http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm> )をご覧ください。

また、2005年の結核発生動向調査年報が出されました。詳しくは、結核研究所ホームページ( [http://www.jata.or.jp/rit/rj/data\\_tp.html](http://www.jata.or.jp/rit/rj/data_tp.html) )をご覧ください。



## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所( 地研 )からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

( 2006年10月19日現在報告分 )

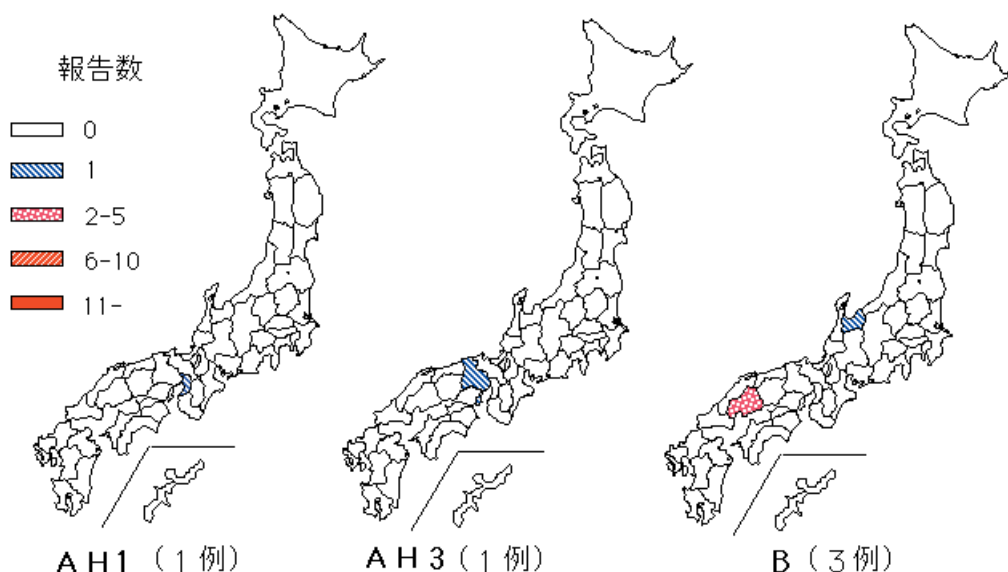
### インフルエンザウイルス 2006/07シーズン

第36週に富山県で、タイから帰国後に発症した小児からB型が分離され、第37週に兵庫県で、フィリピンから帰国後発症した成人からAH3型がPCRで検出された。第39週には大阪府で、香港から帰国後に発症した母親から感染した小児よりAH1型が分離されている。

また、第38週に広島県でB型2件が分離され、地域での小流行が報告されている。

#### 都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2006/07シーズン

( 病原微生物検出情報：2006年10月19日現在報告数 )



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

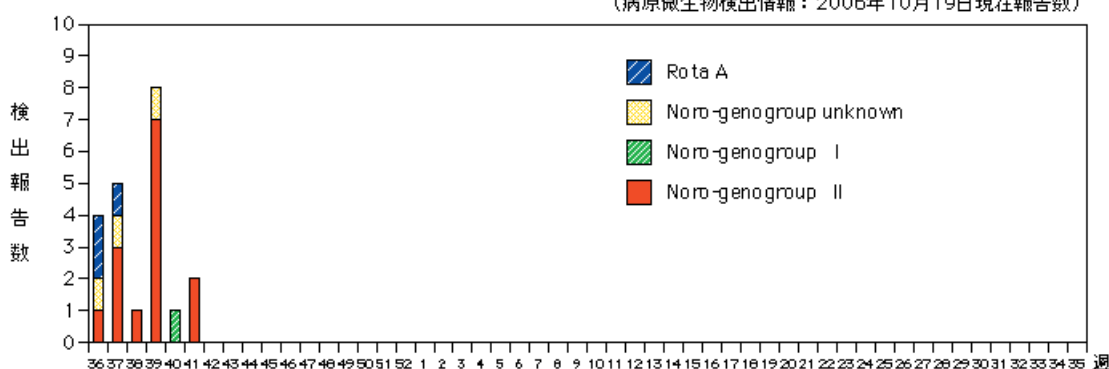
**感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン**

ノロウイルスgenogroup II 14件、genogroup I 1件、genogroup unknown3件、A群ロタウイルス3件の検出が報告されている。

ノロウイルスgenogroup IIは山梨県、大阪府、福岡県など7府県、genogroup Iは島根県、A群ロタウイルスは東京都、京都府から報告されている。この他に、第37週に山梨県でgenogroup IIによる施設内集団発生が報告されている( 本号14ページ「速報」参照 )。

**週別ノロウイルス&ロタウイルスの検出報告数、2006/07シーズン**

(病原微生物検出情報：2006年10月19日現在報告数)

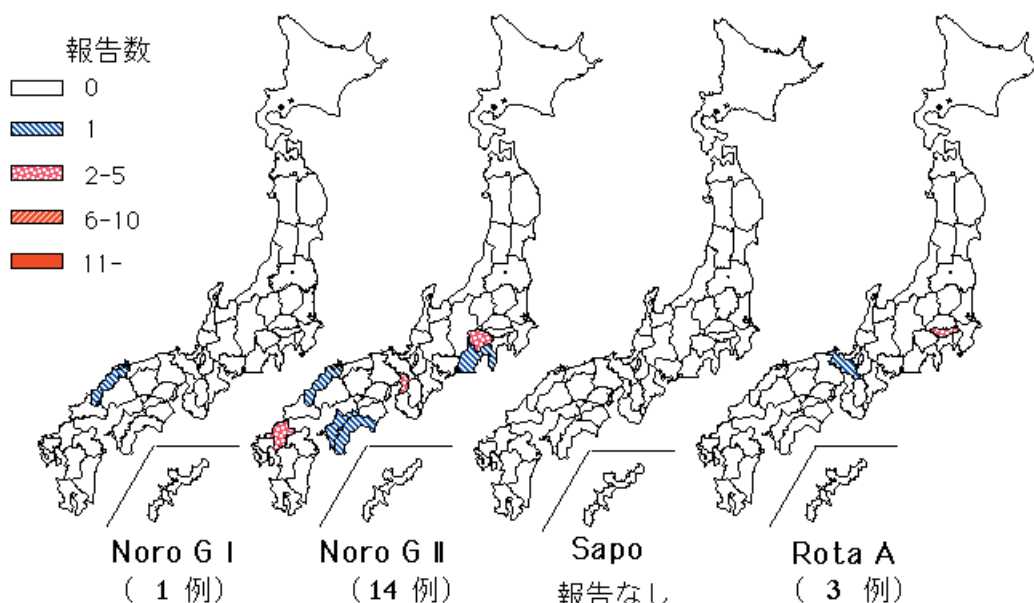


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



**都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2006/07シーズン**

(病原微生物検出情報：2006年10月19日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

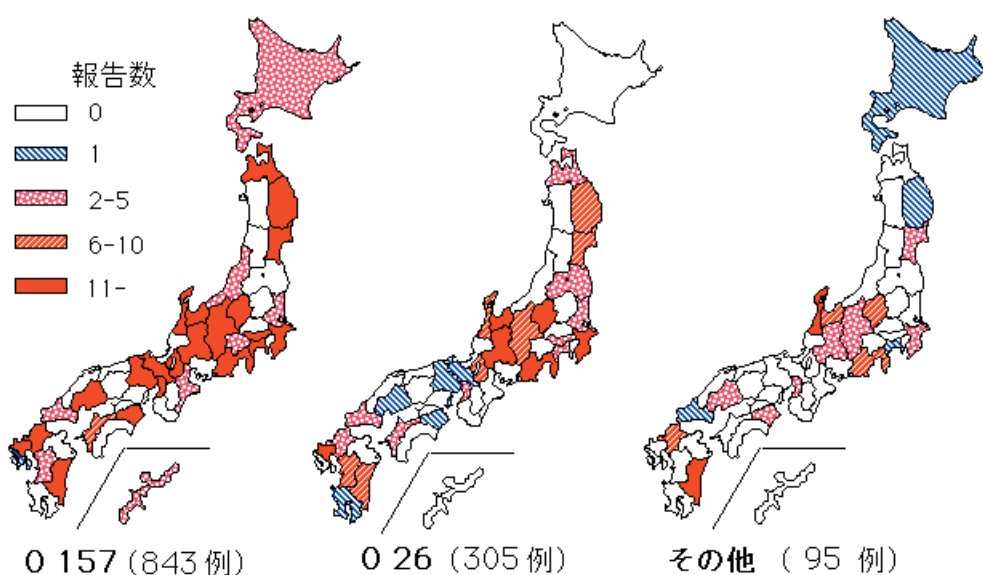


**ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年**

2006年の検出総数は1,243件で、O157が843件、O26が305件、その他の血清型が95件報告されている。第35週に富山県で、第36～37週に徳島県でO157による保育園での大きな集団発生が報告された。その後も集団発生の報告が相次いでいる。O157: 第39週富山県中国ツアー、第40週福岡県韓国修学旅行、O26: 第37～38週静岡県保育所、O111: 第38～39週静岡県小学校牧場体験、第40～41週富山県調査中。

**都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年**

(病原微生物検出情報: 2006年10月19日現在報告数)

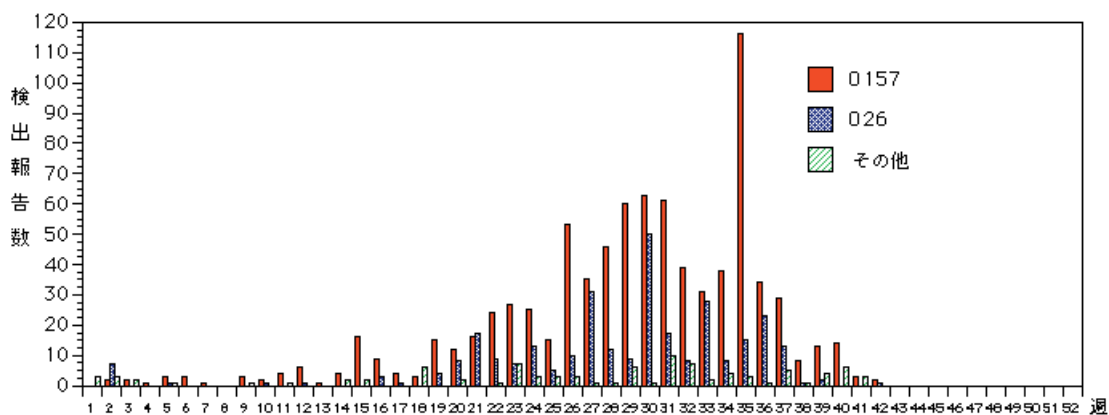


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



**週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2006年**

(病原微生物検出情報: 2006年10月19日現在報告数)

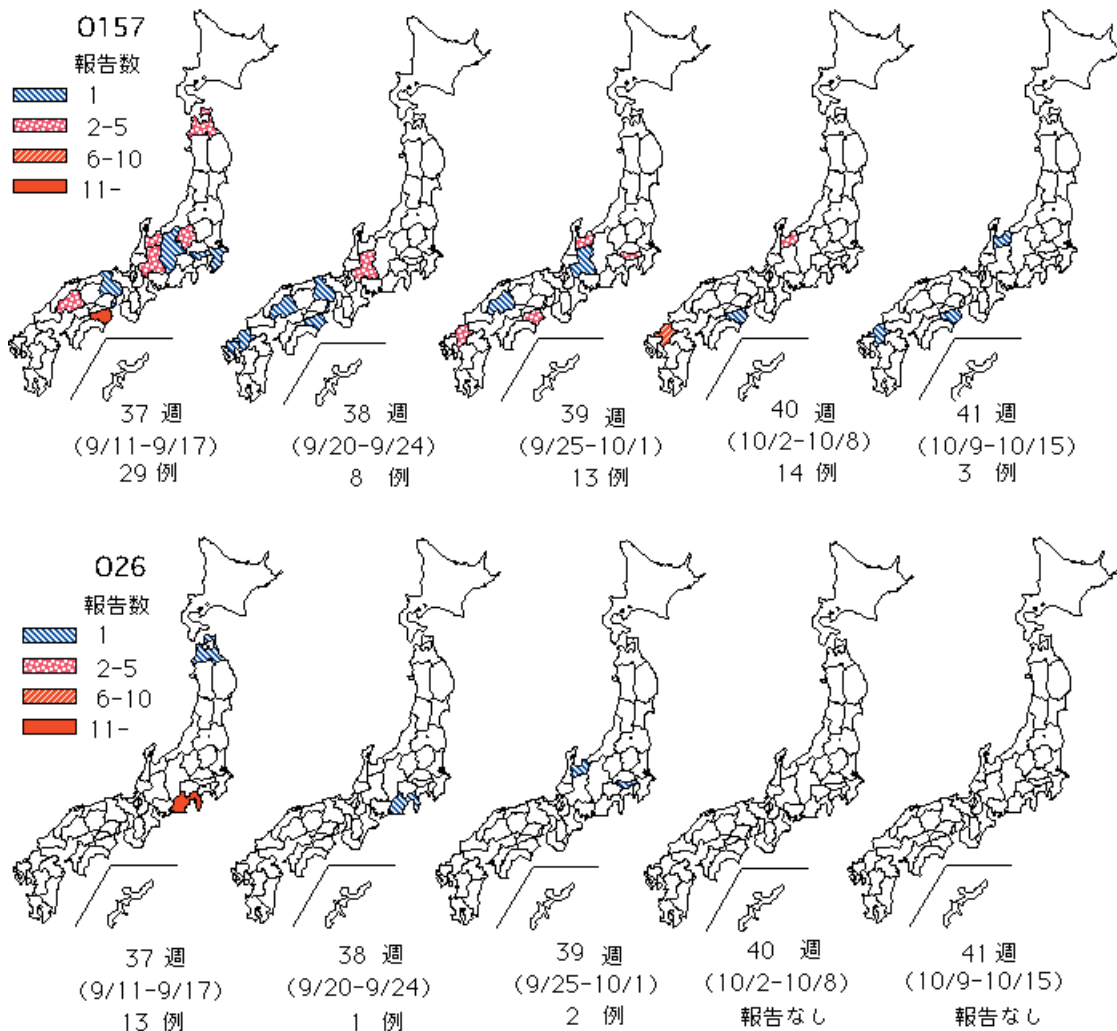


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年第37週～第41週

(病原微生物検出情報：2006年10月19日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report





## 複数の福祉施設が関係したノロウイルスGIIの集団感染事例 - 山梨県

2006(平成18)年9月に山梨県内の特別養護老人ホーム(施設A) および障害者福祉施設(施設B)を中心とするノロウイルスgenogroup(G)IIの集団感染事例が発生したので、その概要を報告する。

9月17日、施設Aから管轄保健所に嘔吐、下痢を呈した入所者がいるとの連絡があった。聞き取り調査の結果、施設Aの清掃作業をしている施設Bの利用者が、9月15日の清掃作業時に便失禁し、便で汚染されたモップで廊下などを全館拭き掃除していたことが判明した。しかし、施設Aでは便失禁の判明したフロアのみを清掃し、同日夜、全職員が別の階で避難訓練を実施していた。この清掃作業者は病院を受診し、整腸剤を処方された。

この清掃作業者は施設Bのグループホーム入所者で、他の3名と居所を共にしている。このうち2名に下痢などの症状のあることが判明し、糞便からノロウイルスGIIが検出された。しかし、便失禁した清掃作業者については検体採取ができなかった。

9月17日午前、施設Aの全館を適正濃度の次亜塩素酸で拭き掃除したが、同日の深夜、施設Aの入所者1名、職員5名が下痢、嘔吐などで発症した。9月18日、手洗いや次亜塩素酸による清掃など、感染防止対策を指導するとともに、施設Aの入所者5名、調理従事者8名の検便、厨房のふきとり検査(細菌検査のみ)を行った。その結果、入所者5名、調理従事者3名からリアルタイムPCR法でノロウイルスGIIが検出された。このため、施設Aの給食の自粛と二次感染防止を指導した。

9月20日、障害者通所授産施設(施設C)の利用者1名が施設Bへ訪問後に、体調不良を訴えているとの連絡があり、調査を開始するとともに感染拡大防止を指導した。また、この者を含む施設Cの利用者2名について検便を実施して、1名からノロウイルスGIIが検出された。

各施設では外部との接触制限など、自発的な感染防止対策をとり、9月24日に施設Aの職員1名とその家族(接触者)3名が発症したのを最後に、新たな発症者は確認されなかった。最終的な発症者数は施設A(利用者181名中58名、職員等112名中25名、接触者3名)、施設B(利用者80名中20名、職員等29名中1名)、施設C(利用者23名中1名)の計108名であった。糞便からノロウイルスGIIが検出されたのは施設A(利用者5名中5名、職員等17名中8名)、施設B(利用者6名中5名、職員等6名中1名)、施設C(利用者2名中1名)の計20名であった。

給食を食べていない利用者や職員が初期に数名発症していることなどから、食中毒ではなく、ノロウイルスGIIによる感染性胃腸炎の集団発生と断定した。今回の事例では各施設間の交流の中で感染した可能性が高いものの、感染経路は特定できなかった。

現在、各施設から検出されたノロウイルスについて遺伝子塩基配列を解析して、関連性を調査している。9月の上旬には、山梨県内の別の老人ホームでノロウイルスGIIの集団感染が発生している。非流行期であってもノロウイルスの集団感染は発生し得るものであり、日常からの注意が必要であると考えられる。また、職員、入所者の健康状態の確認と、それに応じた作業の分担なども今後配慮すべきであると考えられた。

山梨県衛生公害研究所 山上隆也 原 俊吉

(IASR 2006年11月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### コートジボワールで黄熱患者発生

WHO/EPR 2006年10月19日

2006年10月5日、保健省はコートジボワールのKorhogoおよびOuaragahio町での黄熱患者2名を報告した。患者( Korhogoの30歳男性とOuaragahioの16歳少女 )は、コートジボワールのアビジャンにあるパスツール研究所と、セネガルのダカールにあるパスツール研究所地域ラボでの検査( ELISA法によるIgM抗体の検出 )によって、診断が確定された。これまでのところ、死亡者は報告されていない。

WHOによって支援された保健省は、2件の感染事例を調査するため、ウイルス学者、疫学者および昆虫学者を含む総合的なチームを派遣した。その結果、サーベイランス活動が強化され、感染地区に対してワクチンキャンペーンが計画されている。保健省は、このキャンペーンを開始するために国際社会に資金援助を求め、また、黄熱ワクチン供給に関する国際調整グループ( ICG )にワクチン提供を求めている。

### ケニアでポリオ患者発生

WHO/EPR 2006年10月19日

ケニア北東部にあるソマリア人難民キャンプから、隣国ソマリアからのウイルス持ち込みが原因の、野生ポリオウイルス1型による患者1名が報告された。3歳の患児( ケニア生まれで、ソマリアへの渡航歴はない )は、2006年9月17日に麻痺を発症した。この患者は、ソマリアと国境で接するNorth Eastern州Garissa地区在住である。ソマリアでは2005年7月以来これまでに、ポリオ患者216名が発生している。遺伝子配列解析の結果、ソマリアのKismayoから輸入されたナイジェリア起源のウイルスであることが示唆された。しかし、問題のウイルスがどのくらいの期間ケニアで感染循環しているかを決定するのは困難である。国内機関および国際機関による合同迅速対策チームが詳細な臨床的、および疫学的調査を実施している。

11月3日にケニア北東部で、緊急の経口単価1型ポリオウイルスワクチンによる準全国ワクチン接種キャンペーンが予定されている。この接種キャンペーンはソマリアおよびエチオピアとの調整がなされたが、ケニアの小児25万人が対象とされる。12月に予定される次の接種キャンペーンは、ナイロビや他のハイリスク地区も含むように規模が拡大される可能性が高い。

### インドでのチクングニア流行

WHO/EPR 2006年10月17日

2006年2月から10月10日にかけて、WHO東南アジア地域事務局は、インド国内の8州/地域の151地区でチクングニア感染が確認されたことを報告している。感染が確認された州は、Andhra Pradesh, Andaman & Nicobar Islands, Tamil Nadu, Karnataka, Maharashtra, Gujarat, Madhya Pradesh, KeralaおよびDelhiである。全国から疑い患者125万人が報告されているが、その内の752,245人はKarnataka州から、258,998人はMaharashtra州から報告された。一部の地区では、発病率が45%に達したと報告している。

保健家族福祉省、Kerala州保健当局およびWHOインド事務所および東南アジア地域事務局のスタッフからなる専門家チームが、Kerala州での流行を調査している。同チームは、病院および自宅にいる疑い患者の臨床的および疫学的調査を実施し、臨床検体を採取した。昆虫学的な調査では、感染地区および非感染地区でヒトスジシマカの生息密度が高いことが確認された。

個人的感染予防のために、各個人は、チクングニアウイルスを媒介する蚊族( ネットアイシマカを含む )による刺咬を防止する対策を講じるべきである。これらの蚊族は日中も吸血する。蚊の発生の除去は、蚊族密度の低下に効果がある。以上から、調査チームからの最も重要な勧告は、地域での徹底的な啓発活動と結びついた迅速な媒介蚊駆除対策である。各レベルの医療・保健関係者、政府担当官および非政府機関は、この情報提供および保健教育キャンペーンへの支援を求められている。感染地区住民の媒介蚊駆除対策への動員という点では、Communication-for-Behavioural Impact methodology( COMBI )は成功している。



## 感染症の話

### 住血吸虫症

住血吸虫症は、成虫が静脈内に寄生することで生じる疾患である。尿路住血吸虫症に属するビルハルツ住血吸虫症(病原体は*Schistosoma haematobium*)、腸管住血吸虫症に属するマンソン住血吸虫症(*S. mansoni*)、日本住血吸虫症(*S. japonicum*)、メコン住血吸虫症(*S. mekongi*)およびインターカラーツム住血吸虫症(*S. intercalatum*)の5種類に分けられ、ヒトが河、湖、沼などの淡水に入って感染する。本疾患は流行地では、社会経済的、公衆衛生的にマラリアに次いで2番目に重要な寄生虫症とされている。わが国では以前、日本住血吸虫症が特定地域に多発していたが、今では撲滅されて新たな患者発生は見られない。しかし最近、日本人が流行地に旅行や滞在したり、さらに外国人の日本訪問が増えるにつれて、輸入感染症としての重要性が高まりつつあり、国内医療機関で適切な医療対応を行なう必要が増大している。

#### 疫学

世界保健機関の推定では、世界中で2億人が本疾患に罹患しており、それによる重篤な合併症での死亡が毎年2万人あるとされている。ビルハルツ住血吸虫症は中東、マダガスカルを含むアフリカの広範な地域とモーリシャスに、マンソン住血吸虫症はアラビア半島、アフリカで赤道より北の殆どの国(エジプト、リビア、スーダン、ソマリア、マリ、セネガル)、モーリシャス、ブラジル、カリブ海諸国のいくつかとスリナム、ベネズエラなどに分布する。日本住血吸虫症は中国の揚子江流域、フィリピン、インドネシアのスラウェシ島などに、メコン住血吸虫症はカンボジアとラオスのメコン川流域に分布し、インターカラーツム住血吸虫症は西～中央アフリカに限局して分布する。

旅行者については、高度流行地であるアフリカへの旅行者が多いヨーロッパにおいても、本疾患は届出疾患ではないので、その全体像は明らかにされていない。しかし、ヨーロッパにおける旅行者疾患のサーベイランスネットワークであるTropNetEuroplは、旅行者のみならず流行地からの移民も対象に、マラリア、デング熱とともに住血吸虫症の症例の集計・解析を行なっている。そこでは1999～2001年の期間に、参加医療機関22カ所より333例が報告されている。そのうち種別が記載されていた226例のうち、92例がビルハルツ、130例がマンソン、4例がインターカラーツム住血吸虫症であり、日本およびメコン住血吸虫症はみられなかった。感染地域としてはアフリカが殆どを占め、なかでも西アフリカが多く、国別ではマラウイ、ガーナ、マリ、ブルキナファソ、エジプトの順であった。

アフリカでは住血吸虫症のリスクが高いことは一般にも知られていたが、英国の有名なガイドブックに、マラウイ湖では住血吸虫症にはかからないと間違えて記載されていた。そのため多くの旅行者が無防備でマラウイ湖の淡水に入り、英国人旅行者を中心として多くの人が罹患し、わが国でも感染例が報告されている。

かつてわが国にも、甲府盆地をはじめ、九州の筑後川流域、広島県片山地方、静岡県富士川流域などに、日本住血吸虫症の幾つかの流行地があった。しかし、中間宿主となる宮入貝の対策を中心に撲滅計画が進み、感染者数が大幅に減少した結果、1976年を最後に、国内で日本住血吸虫に新しく感染した例は報告されていない。ただし、河川の整備や宅地開発の影響で宮入貝生息地は減少し、現在その生息が確認できない旧流行地も多いが、甲府盆地と小櫃川流域(千葉県)には未だ宮入貝が多数生息している。これら日本産の宮入貝は、フィリピンや中国の日本住血吸虫にも感受性があり、ヒトや動物の移動に伴ってそれらの国から日本住血吸虫が侵入した場合、国内で再興感染症となる可能性を否定することはできない。この点は、国内に中間宿主が存在しないマンソンおよびビルハルツ住血吸虫症と大きく異なる。



**病原体**

感染動物はビルハルツ住血吸虫ではヒト、マンソン住血吸虫では齧歯類やヒヒ、日本住血吸虫ではウマやイヌなどを含む多くの動物である。ヒトを含む感染動物が尿や便中に虫卵を排泄するが、虫卵のサイズはビルハルツ、マンソン住血吸虫では110 ~ 170 x 40 ~ 70 μmであり、前者の場合先端部に( 図1a )、後者の場合一側に棘を有する( 図1b )。日本住血吸虫卵は80 ~ 100 x 40 ~ 60 μmで長径がやや短く、楕円形で側面に小棘を有する( 図1c )。メコン住血吸虫卵は日本住血吸虫卵に、インターカラーツム住血吸虫卵はビルハルツ住血吸虫卵に類似する。虫卵の中にはミラシジウムが形成されるが、これが水中で中間宿主としての淡水産貝に侵入する。それぞれの住血吸虫は異なる淡水産貝に寄生するが、ビルハルツおよびインターカラーツム住血吸虫では*Bulinus*属、マンソン住血吸虫では*Biomphalaria*属、日本住血吸虫では*Oncomelania*属( 宮入貝 )、メコン住血吸虫では*Tricula aperta*である。淡水産貝の中ではスポロシストを経て、セルカリアに成長する。セルカリアは約0.3 mmの長さで二分した尾部を持つが、これが淡水中を遊泳し、ヒトの皮膚を貫通して血中に侵入する。その後、ヒト体内で肺を通過してから静脈に定着するが、シストソミュールのステージを経て成虫となる。

成虫は雌雄異体で、雌虫が雄虫を抱えた形で静脈内に寄生する。体長はビルハルツ住血吸虫の雄虫が10 ~ 15 mm、雌虫が16 ~ 20 mm、マンソン住血吸虫の雄虫が6 ~ 10 mm、雌虫が7 ~ 16 mm、日本住血吸虫の雄虫が12 ~ 20 mm、雌虫が25 mm程度である。これらの成虫が定着する静脈には特徴があり、それにより特徴的な病変を生ずるが、すなわち、尿路住血吸虫は主に骨盤内静脈で特に膀胱周囲、腸管住血吸虫は門脈枝( 腸管膜静脈 )内に寄生する。虫卵は主に前者の場合、膀胱壁や尿管壁、後者では腸管壁や肝臓に沈着する。成虫の寿命は通常3 ~ 5年であるが、まれには30年の長きにわたることもある。

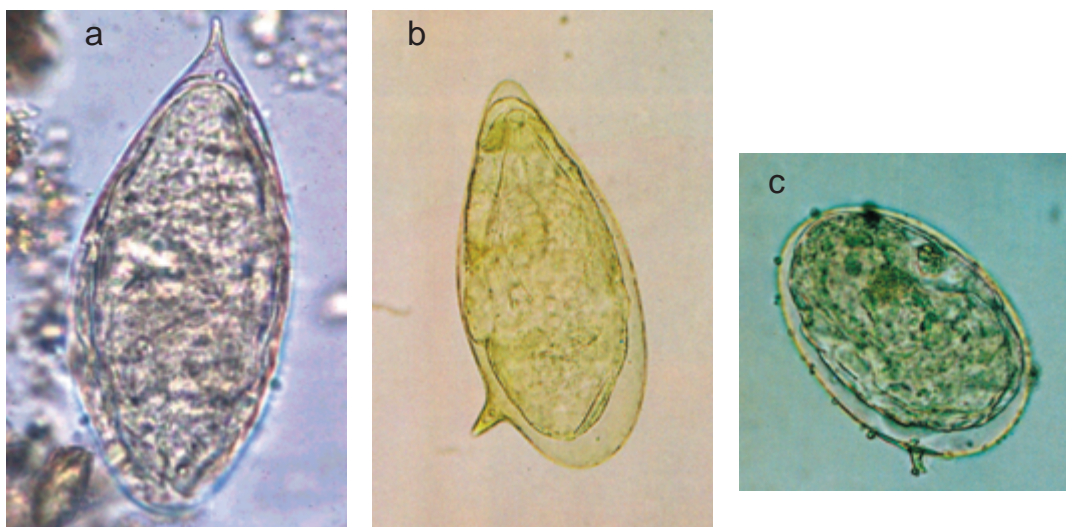


図1. 主要な住血吸虫3種における虫卵 a: ビルハルツ住血吸虫 b: マンソン住血吸虫 c: 日本住血吸虫



**臨床症状**

皮膚からセルカリアが侵入した後、掻痒を伴う皮膚炎(セルカリア皮膚炎、swimmer's itch)を起こすことがあるが、ビルハルツ住血吸虫症ではみられないことが多い。

ビルハルツ住血吸虫症の急性期には頻尿、血尿が見られる。慢性期に入って膀胱壁の線維化が進行すると、膀胱への尿管開口部が狭窄を来し、尿管閉塞から水腎症、腎盂腎炎、腎不全にも進展する。また膀胱壁の虫卵が石灰化し、X線検査で明らかとなる。本疾患により、膀胱癌の発生は30倍に高まると言われている。他に男性では精巣に病変を生じ、精液に血液を混じることもある。女性では外陰部、膣、子宮頸部、卵管などに病変を生ずることがある。

マンソンおよび日本住血吸虫症では、4週間あるいはそれ以上経ってから急性期症状(片山熱)が出現し、発熱、蕁麻疹、好酸球増多、下痢、肝脾腫、咳嗽/喘鳴などを生じる。慢性期では、腸管や肝臓に沈着した虫卵を中心に結節が生じる(図2)。そして、腸管では線維化やポリープ形成により腹痛、下痢、粘血便がみられ、ときには腸閉塞を生ずることもある。肝では肝線維症へと進行し、特徴的な画像所見を示し、長期経過すると肝脾腫、門脈圧亢進、腹水(図3)、食道静脈瘤の形成、そこからの出血をきたす。これらの変化は日本住血吸虫症の方が顕著にみられる。肝臓の病変は一見して肝硬変に類似するが、肝機能は長期間正常に保たれることが多い。日本住血吸虫症では大腸癌と肝細胞癌の発生が高まると言われたが、最近の疫学調査では否定的見解も多い。

さらに、日本住血吸虫症では脳内血管の虫卵塞栓により、脳腫瘍類似の巣症状など多彩な神経症状を示すことがある。近年、駆虫剤のプラジカンテルによる集団治療が進んだ結果、流行地によっては典型的な肝脾腫を示す例が相対的に減少し、神経症状が目立つようになったとの報告もある。ビルハルツおよびマンソン住血吸虫症では神経症状を示す例はまれであるが、やはり脳の病変により脳腫瘍類似の症状、脊髄の病変により脊髄圧迫症状や馬尾症候群を生じることがある。

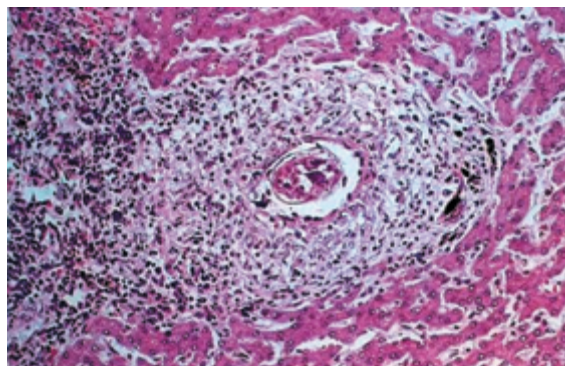


図2. 日本住血吸虫症における肝組織像。肝臓内の門脈に詰まった虫卵の周囲に特異的な炎症反応がおき、肉芽腫が形成される。さらに、肝臓の線維化・肝硬変へと発展し、肝臓や脾臓が腫大する。



図3. メコン住血吸虫症患者における肝脾腫と腹水貯留

### 病原診断

尿路住血吸虫症では主に尿沈渣中に虫卵を検出するが、これには昼間の尿が適している。定量的にはヌクレポア膜濾過法が行われる。ときには膀胱壁の生検材料で検出されることもある。腸管住血吸虫症では通常便を用い、直接塗抹あるいはASM III法などの遠心沈殿集卵法にて虫卵を検出する。ときには、直腸粘膜の生検材料で検出されることもある。住血吸虫症の型と虫卵検出検体との関係は絶対的なものでなく、尿路住血吸虫症で便中に、腸管住血吸虫症で尿中に虫卵が検出されることもあり得る。

血清反応としては虫卵周囲沈降反応( COPT )、EIA法などがある。しかし、過去の感染と現在の感染を区別できないこと、住血吸虫種の間での交差反応がありうること、感染後3カ月程度経過しないと陽性を示さないことが多いなどの限界もある。また、可能な限り、対象とする住血吸虫種由来の抗原を用いた血清反応を行なうべきである。さらに、間接的であるが、CT検査や超音波検査での特徴的な肝線維化の所見が腸管住血吸虫症の診断に役立つことがある。

### 治療・予防

いずれの住血吸虫症でもプラジカンテル40 mg/kgの単回投与が基本であり、殆どは治癒に至るとされている。しかし、特に Mansonia あるいは日本住血吸虫症では30 mg/kgの2~3回投与、40 mg/kg/日・分2の2日間投与が行われることもある。プラジカンテルの副作用は軽微であり、出現しても一過性である。治療3カ月後に虫卵検査を行い、治癒の判定をする。

急性期の片山熱は基本的に自然治癒するもので、プラジカンテルの投与が必要であるかどうかは不明であるが、重症例ではステロイド薬も使われる。片山熱でプラジカンテルを投与しても、幼虫に対する効果は顕著でないことから、3カ月後に再投与することが勧められる。中枢神経系病変ではプラジカンテル単独では症状が悪化することも懸念され、ステロイド薬が併用される。生検材料に石灰化虫卵が検出されるのみで、虫卵の排泄がみられない場合には、通常治療の必要はない。

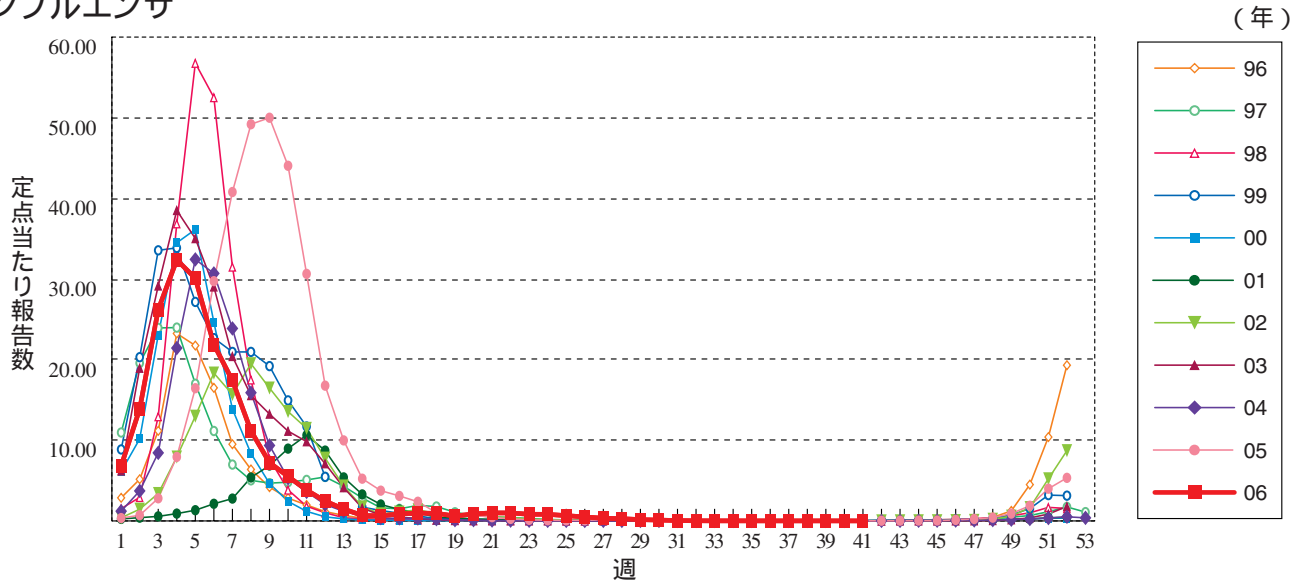
予防としては危険地域の淡水に入らないことである。海あるいは通常の塩素処理されたプールでは感染することはない。淡水に入るのが避けられない場合には、ゴム長靴、ゴム手袋などを着用する。淡水に曝露されてからタオルなどで丹念に拭いても、予防効果は不明である。また、プラジカンテルに予防効果はない。

近年、抗マalaria薬であるアーテミスニン系薬のひとつアーテメーターが、抗住血吸虫薬としても注目されている。アーテメーターは住血吸虫の幼虫ステージにも効果を示すので、感染早期の治療薬としてのみならず、予防にも使用できるとの報告もあるが、まだ一般的にはなっていない。

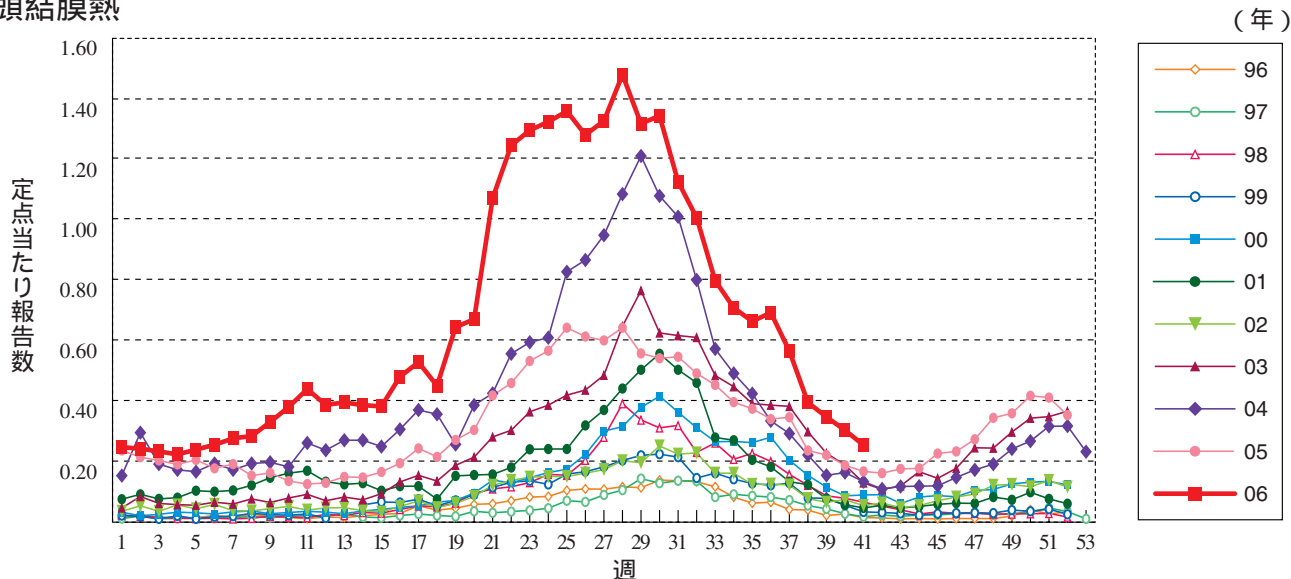
( 国立感染症研究所感染症情報センター 木村幹男、同寄生動物部 大前比呂思 )

**グラフ総覧( 4 1 週 )**

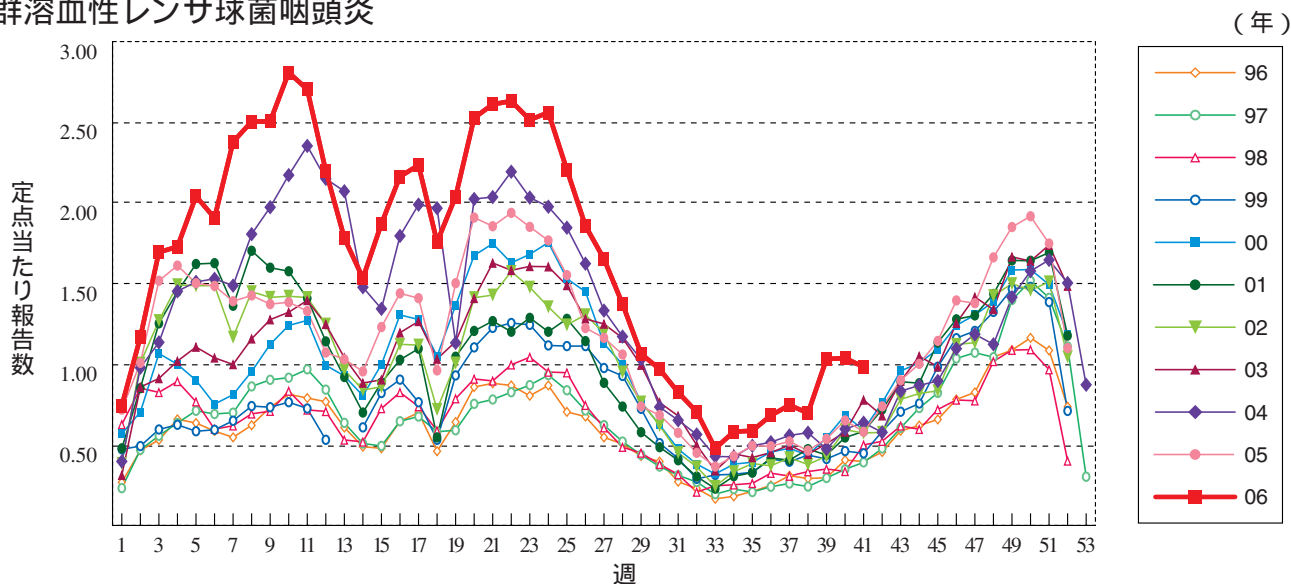
**インフルエンザ**



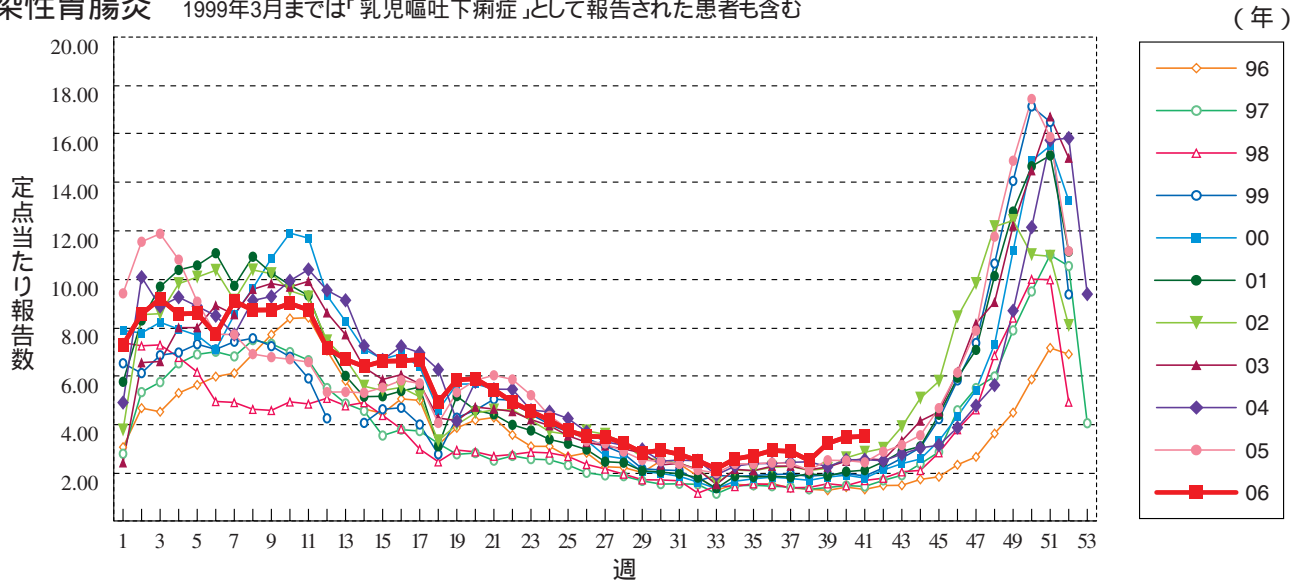
**咽頭結膜熱**



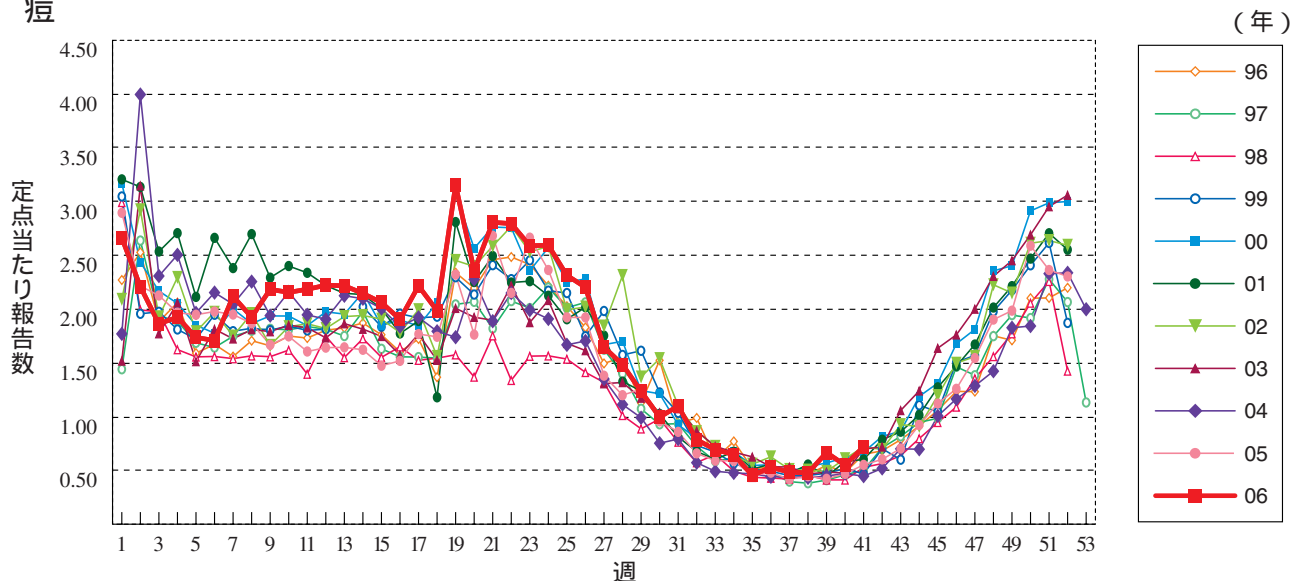
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



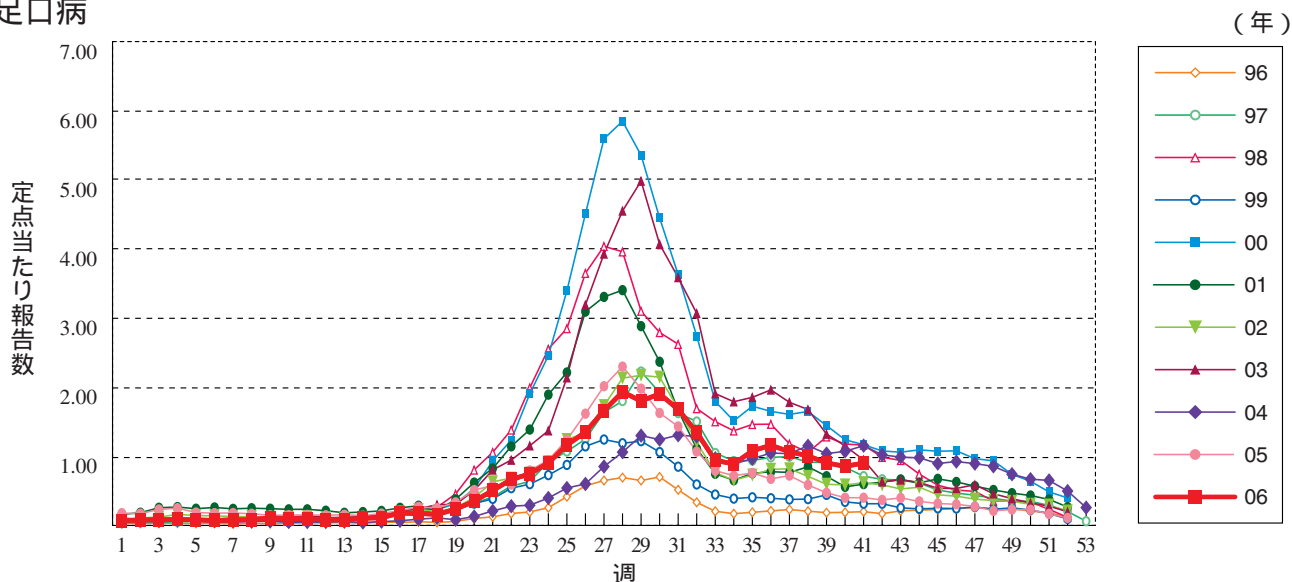
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



**水痘**

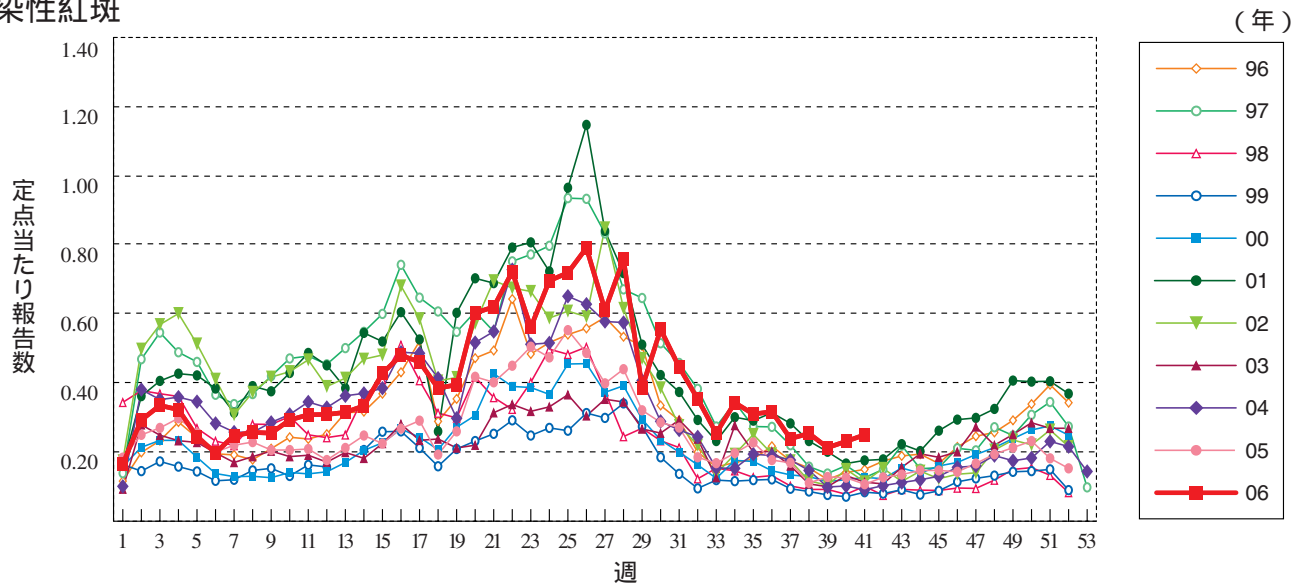


**手足口病**

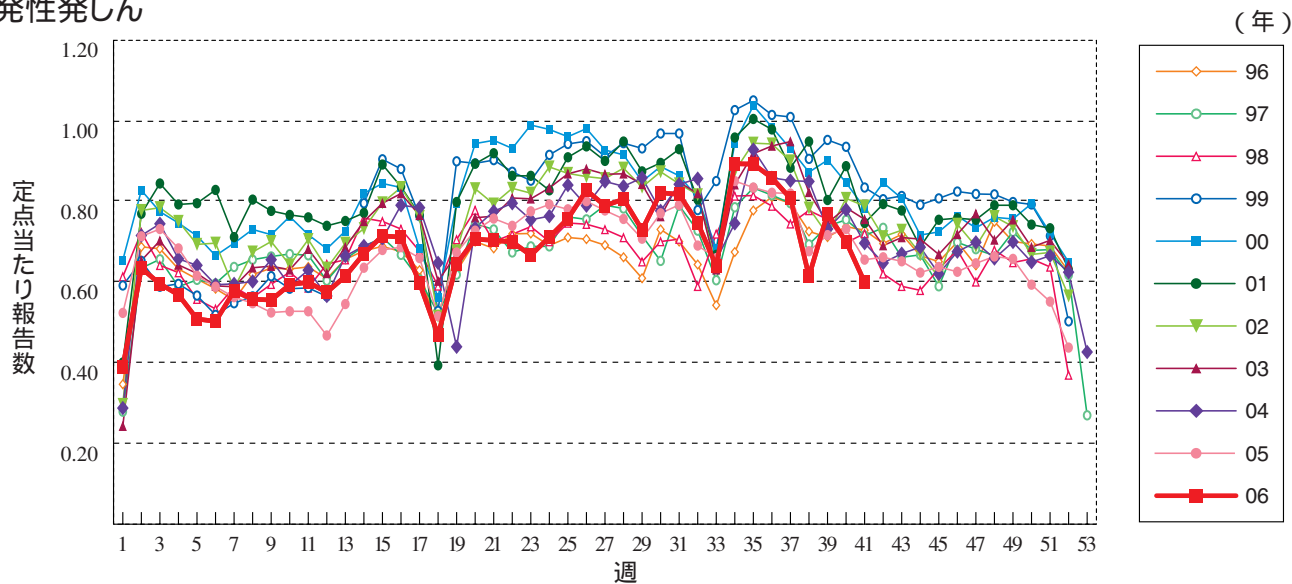




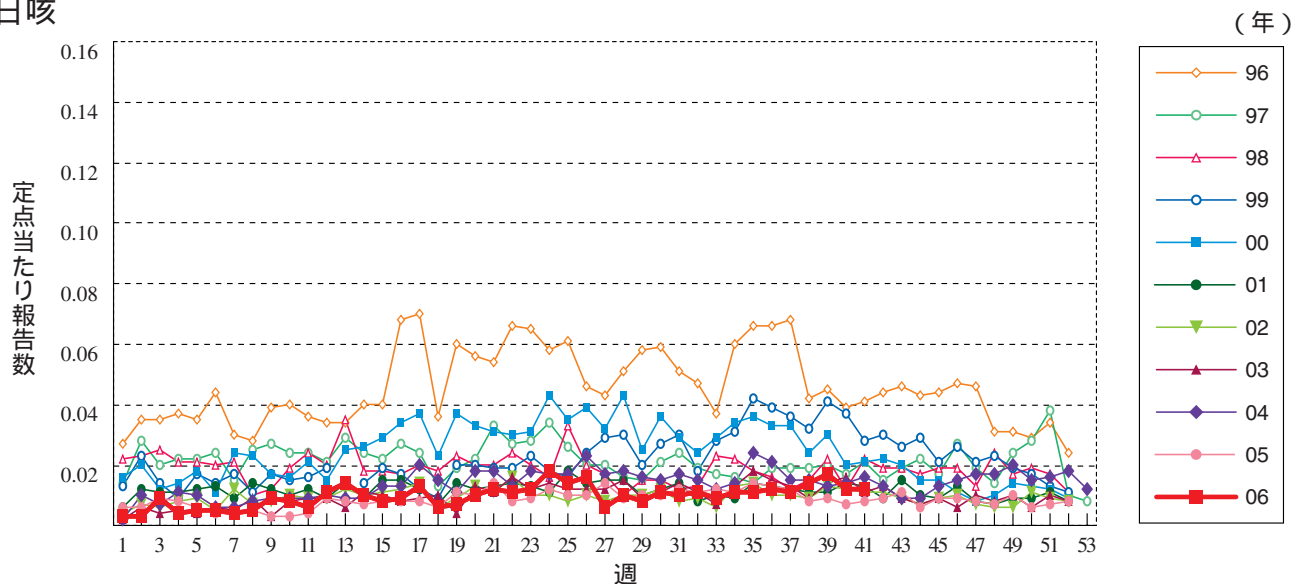
伝染性紅斑



突発性発しん

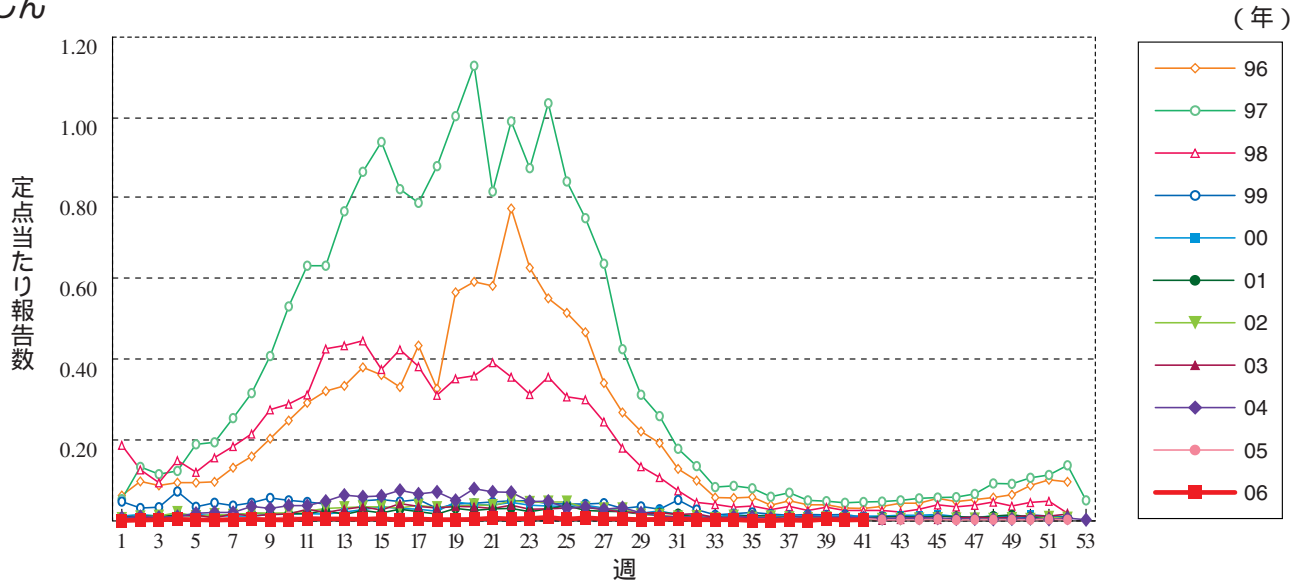


百日咳

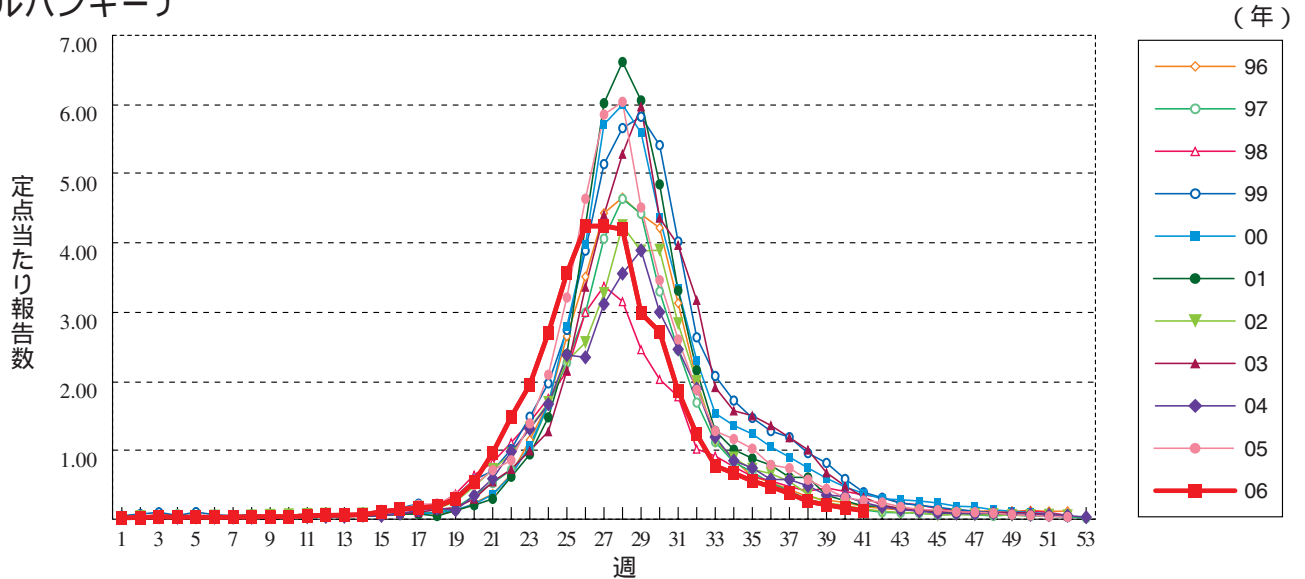




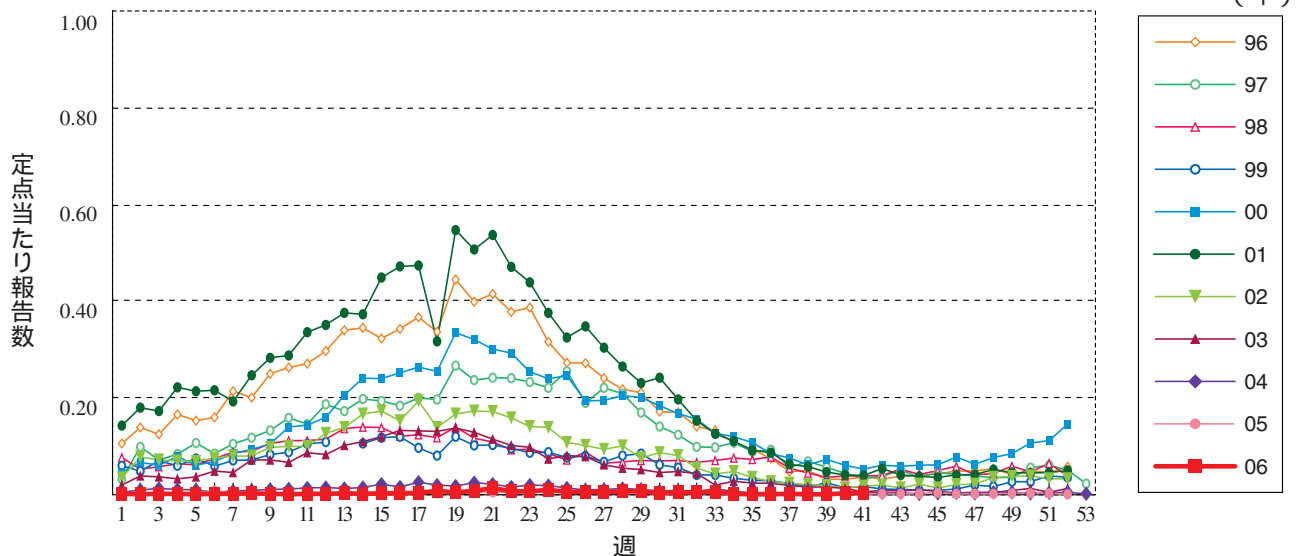
風しん



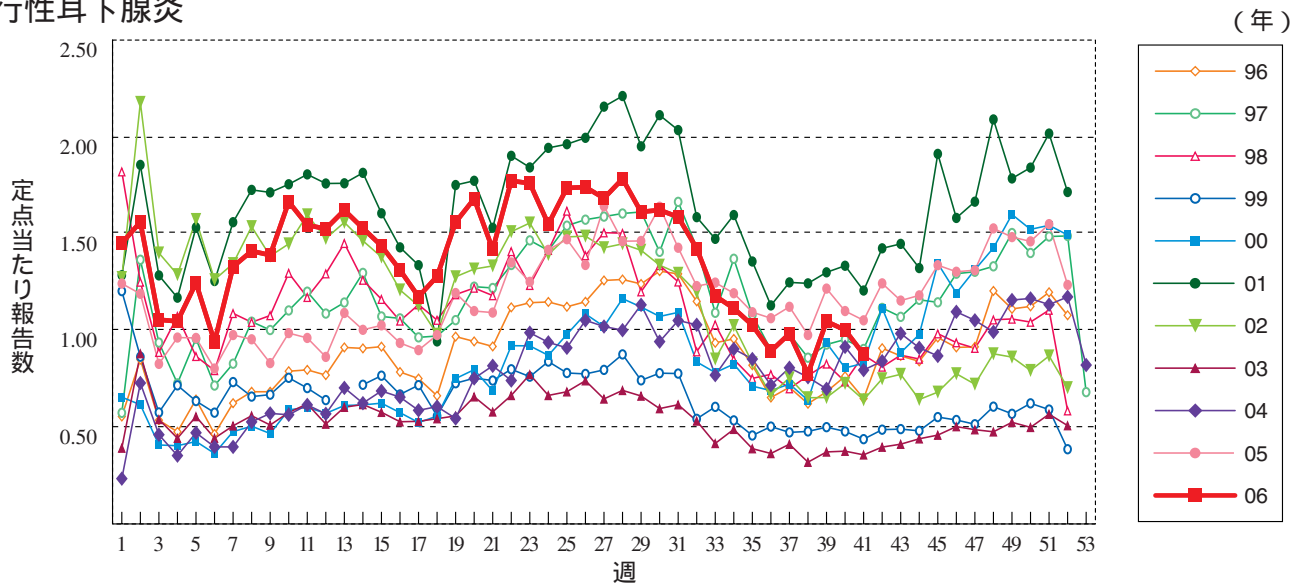
ヘルパンギーナ



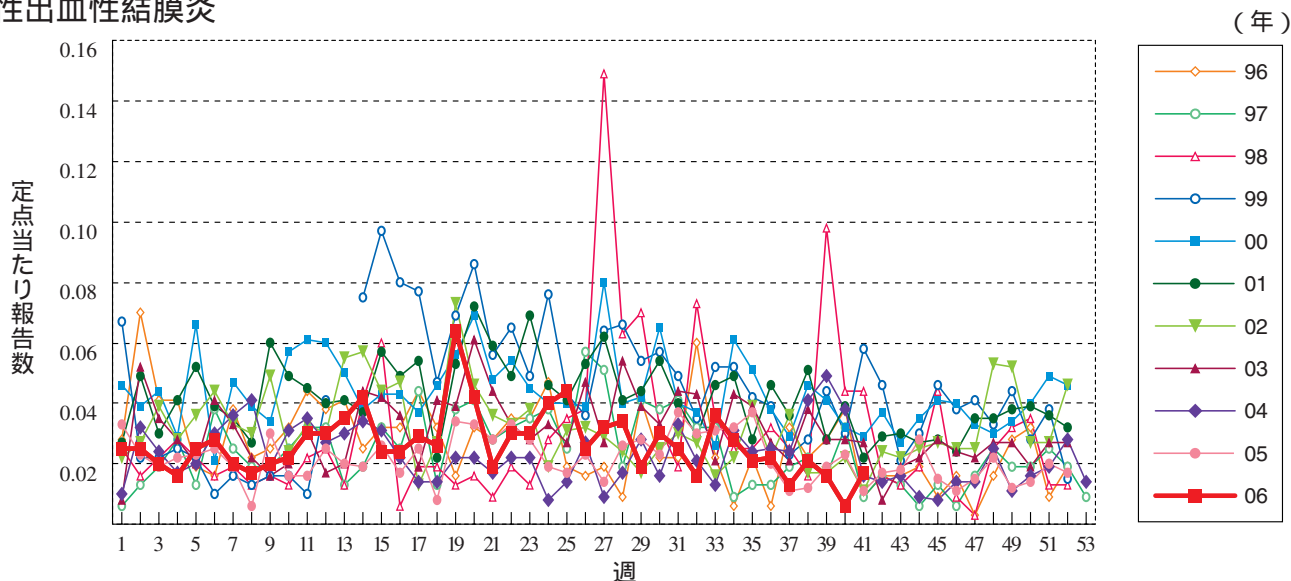
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の17週以前は成人麻しんを含む



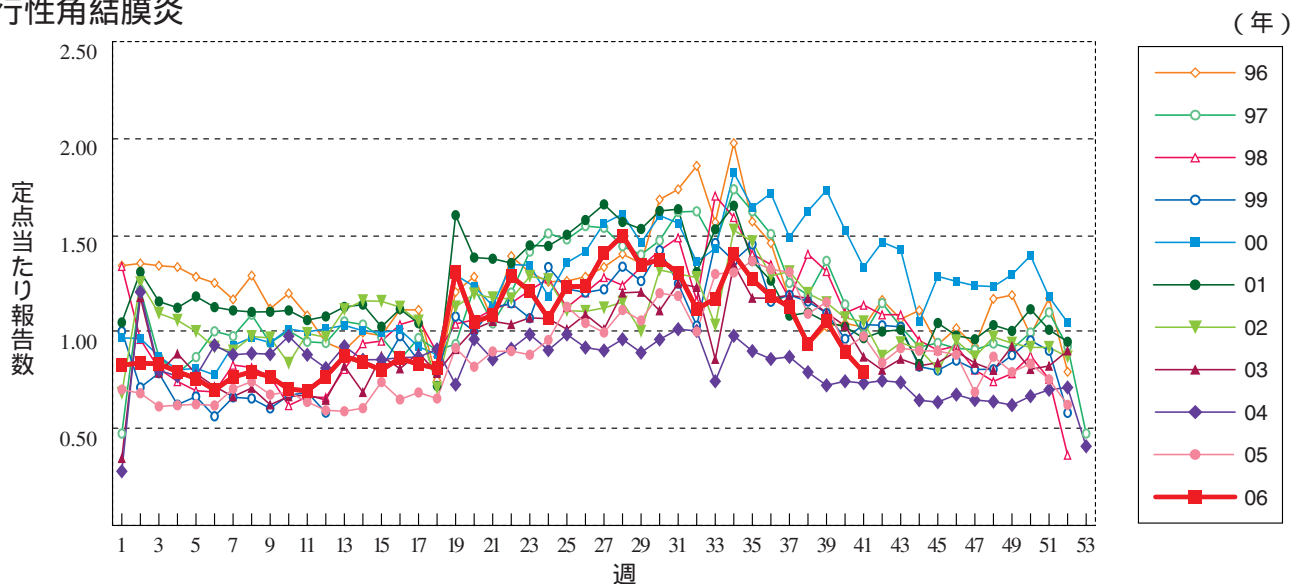
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

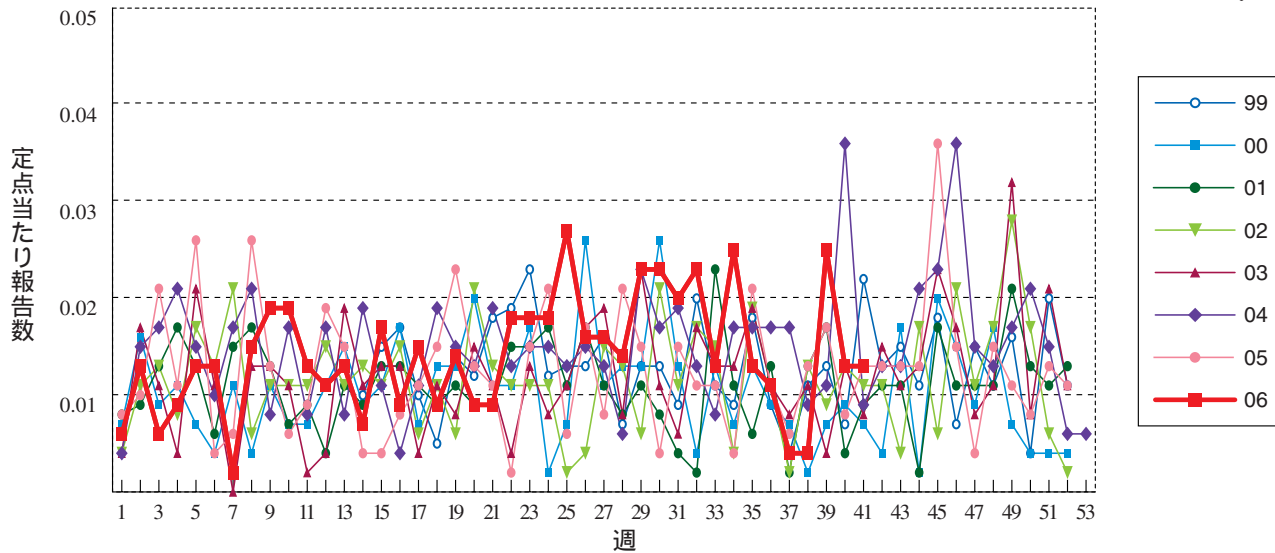


流行性角結膜炎



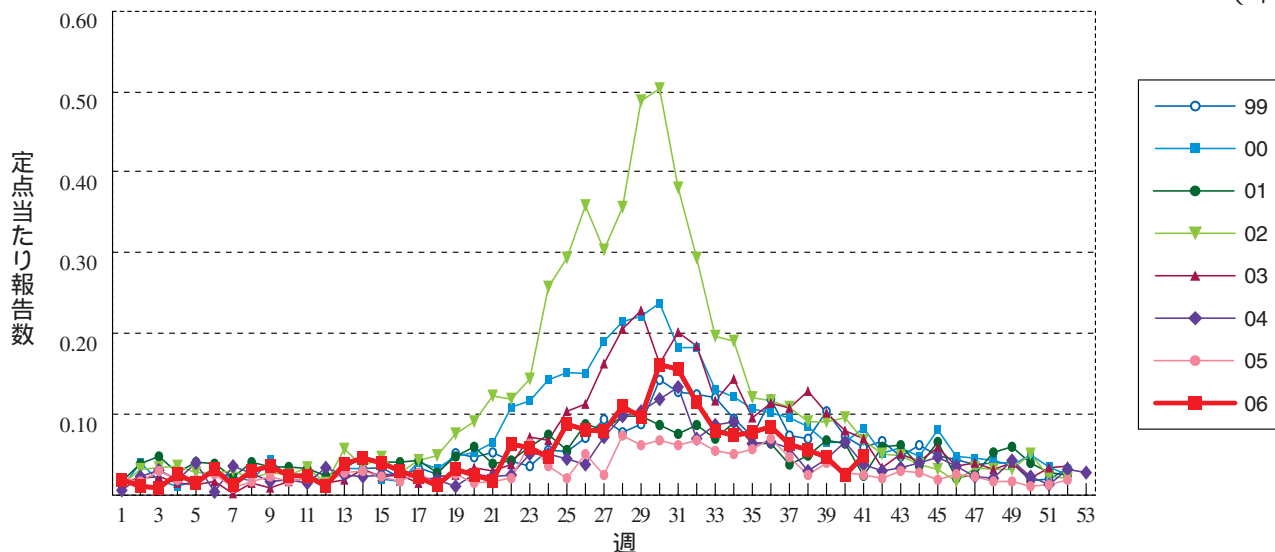
細菌性髄膜炎

(年)



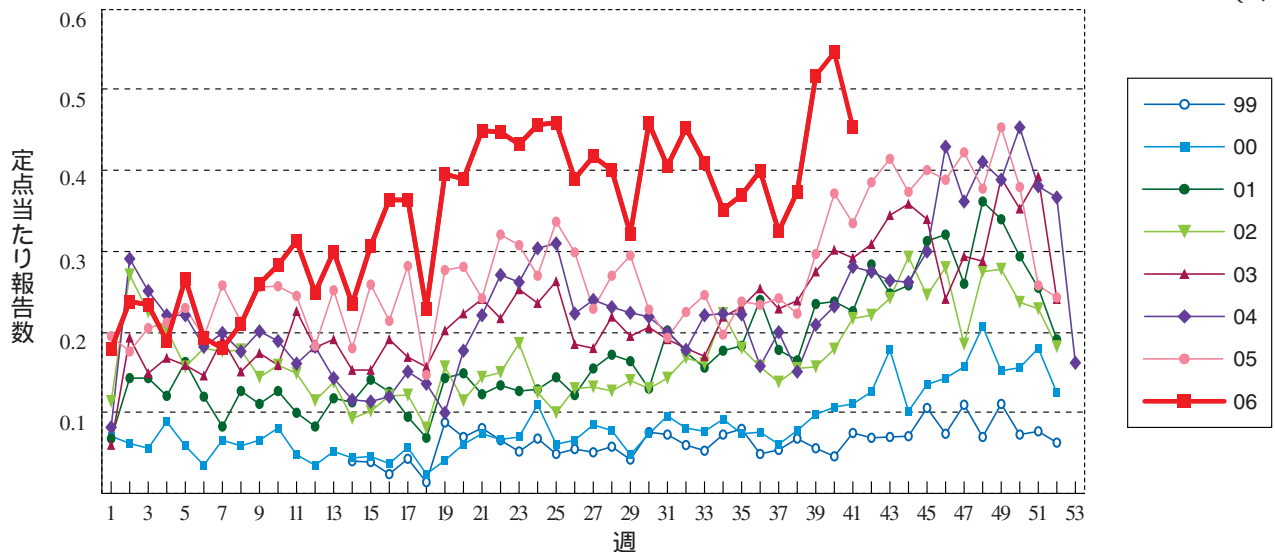
無菌性髄膜炎

(年)



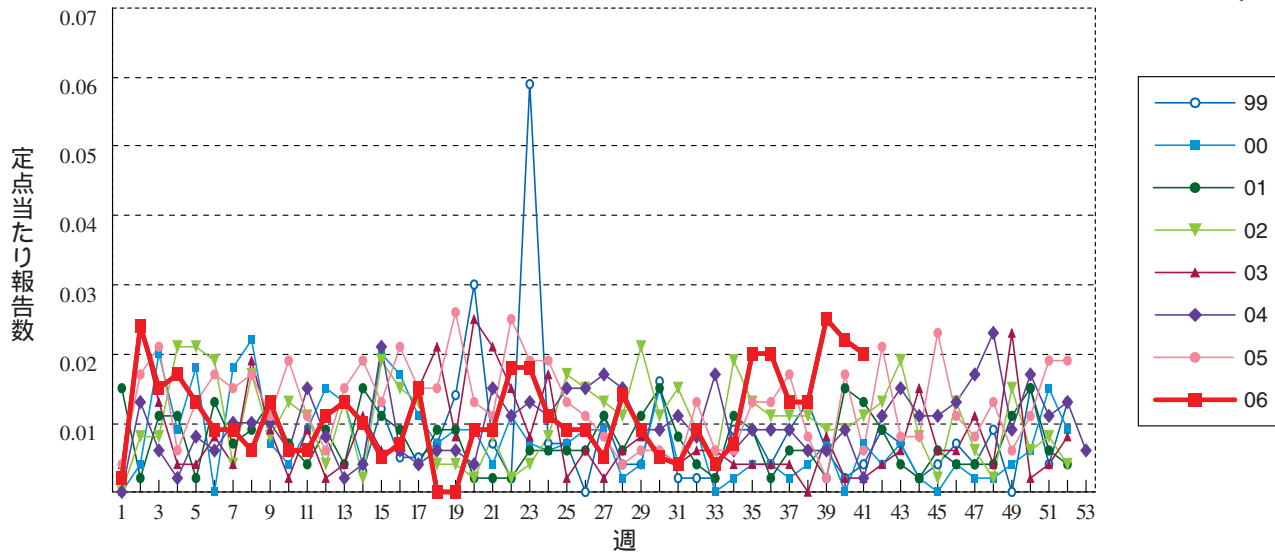
マイコプラズマ肺炎

(年)



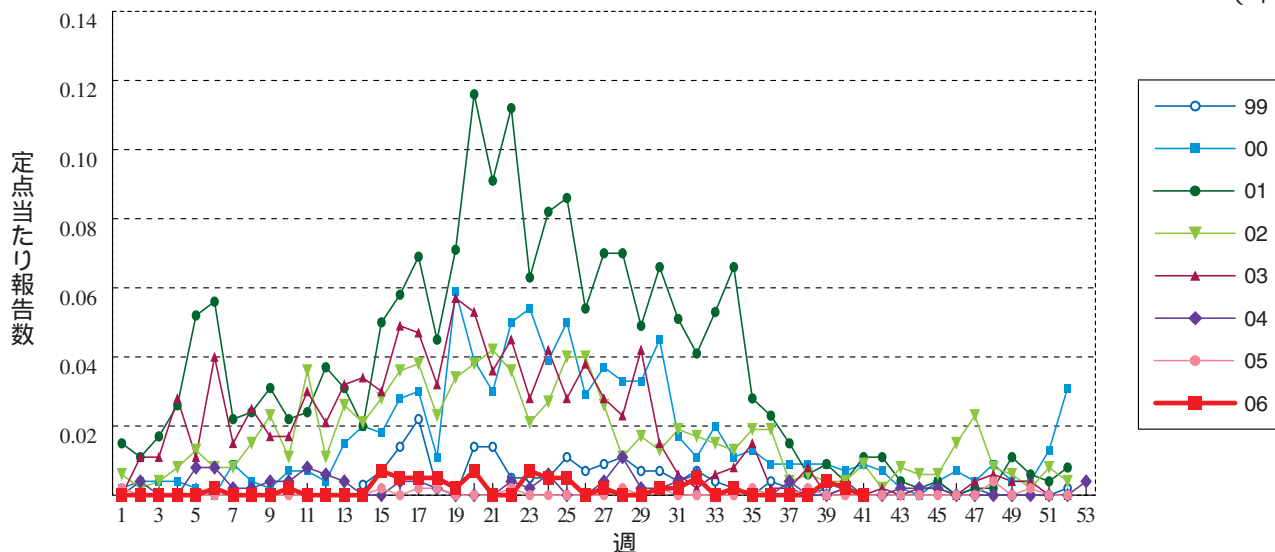
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



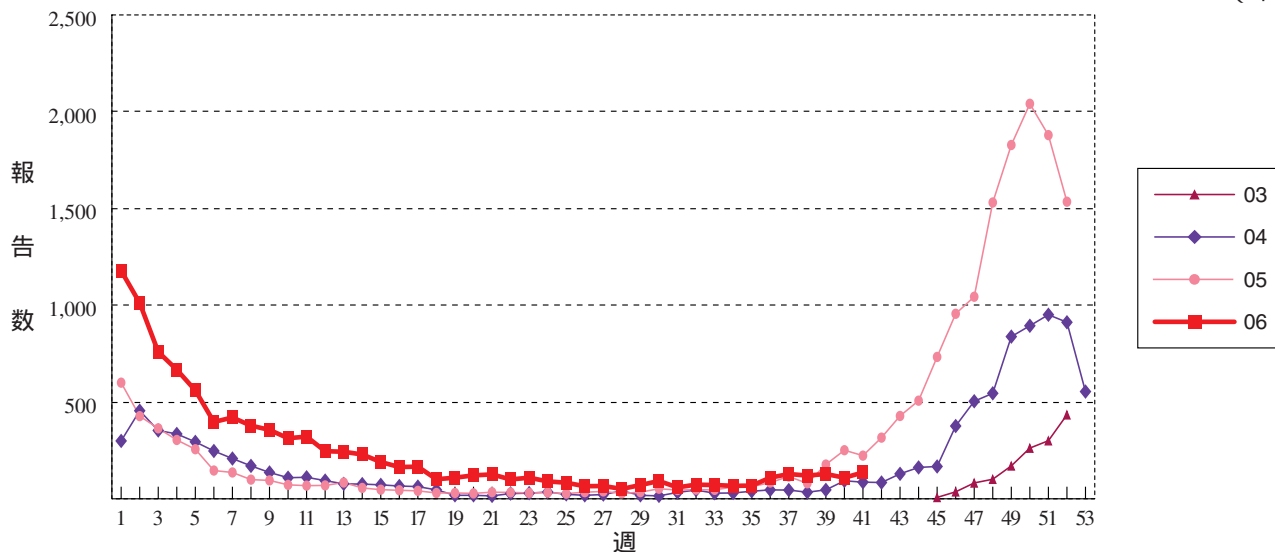
成人麻疹

(年)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)

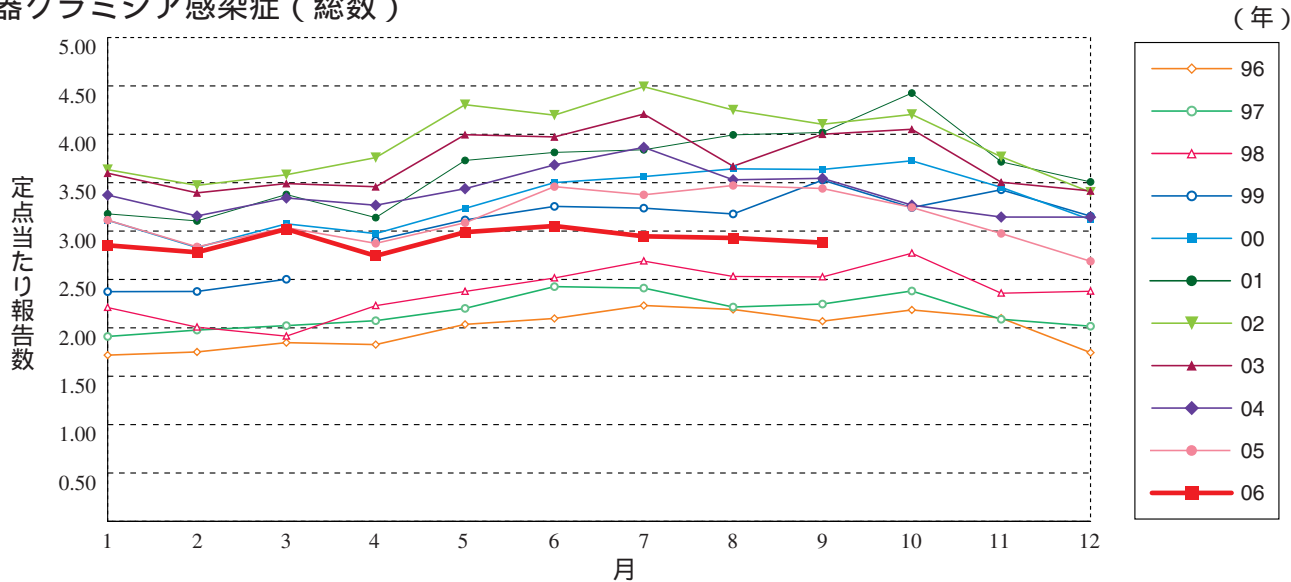




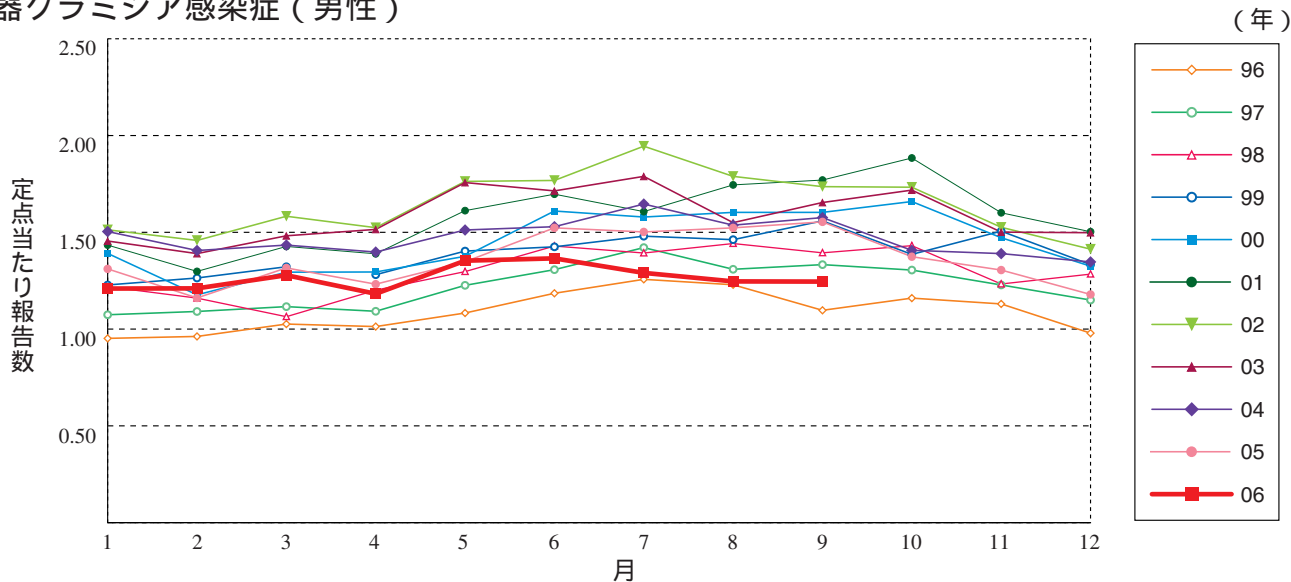
**グラフ総覧(9月)**

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

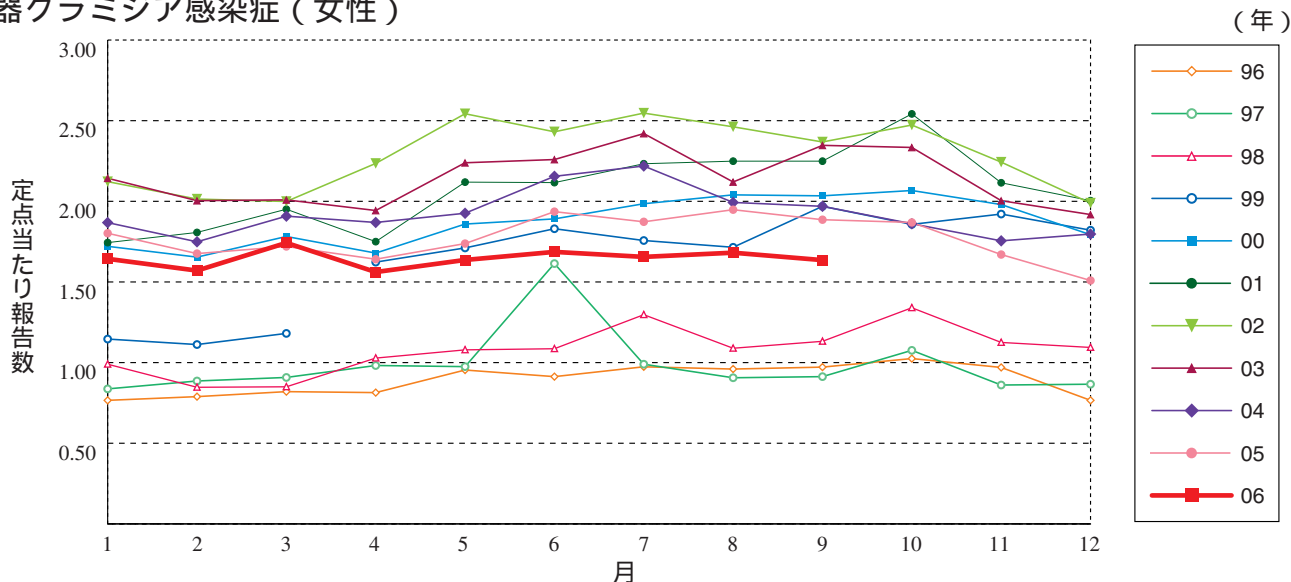
**性器クラミジア感染症(総数)**



**性器クラミジア感染症(男性)**

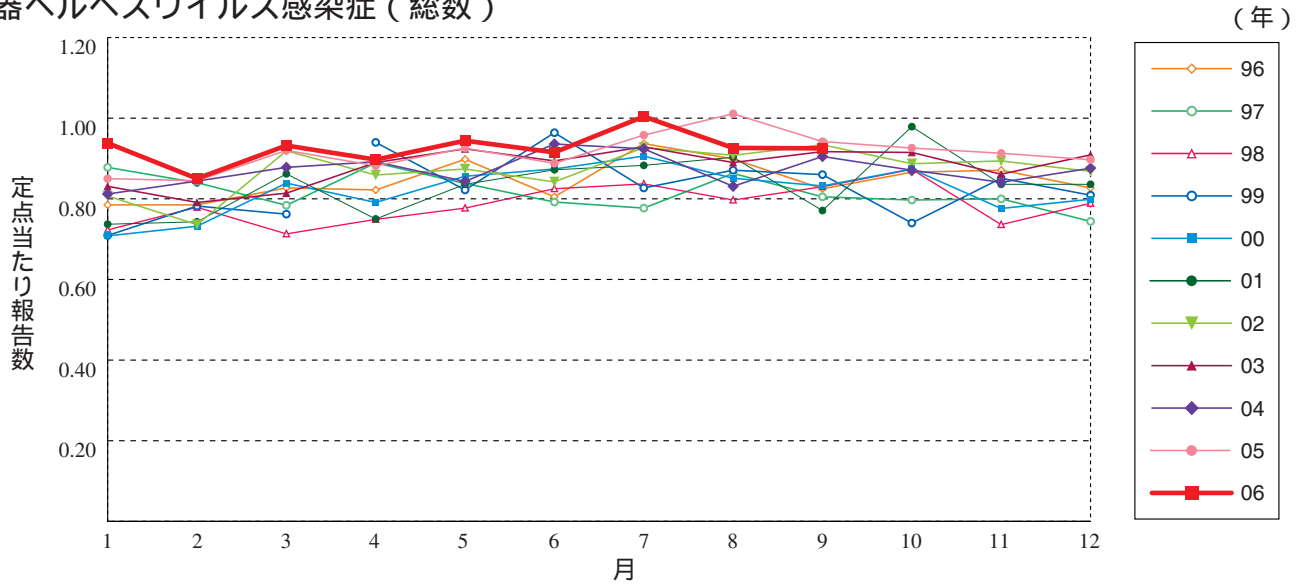


**性器クラミジア感染症(女性)**

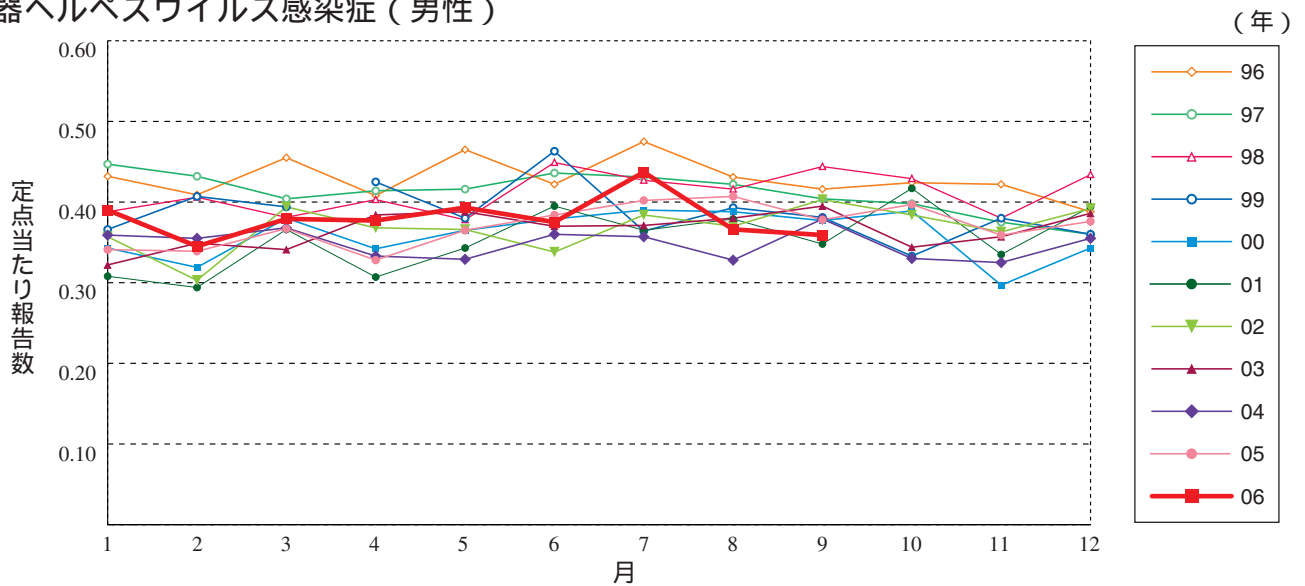




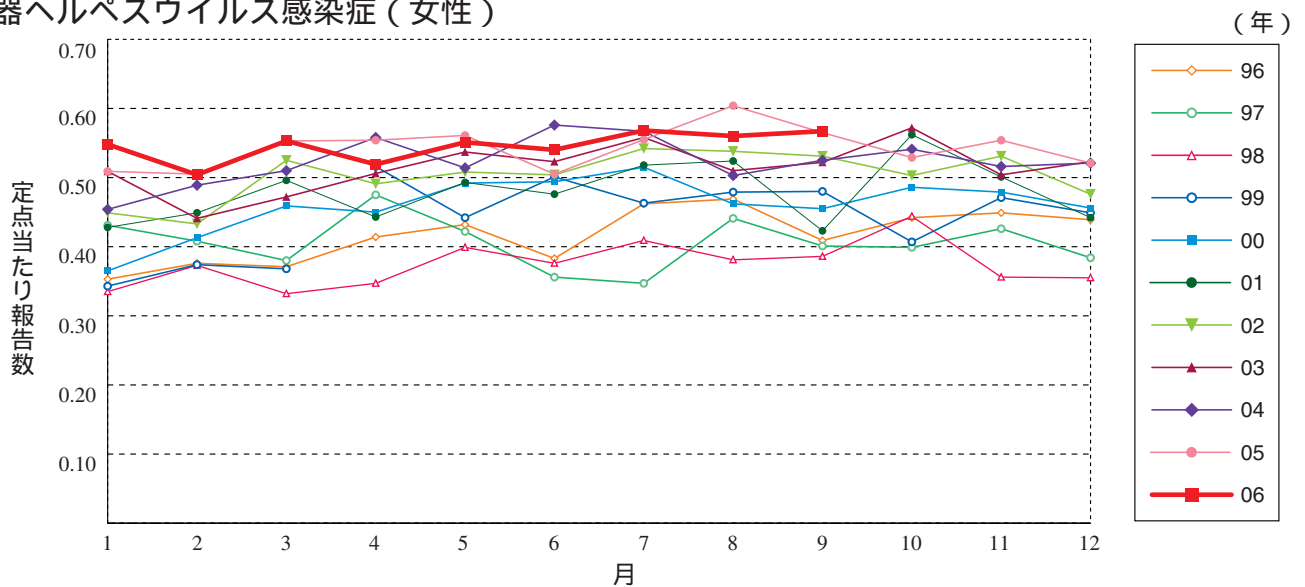
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



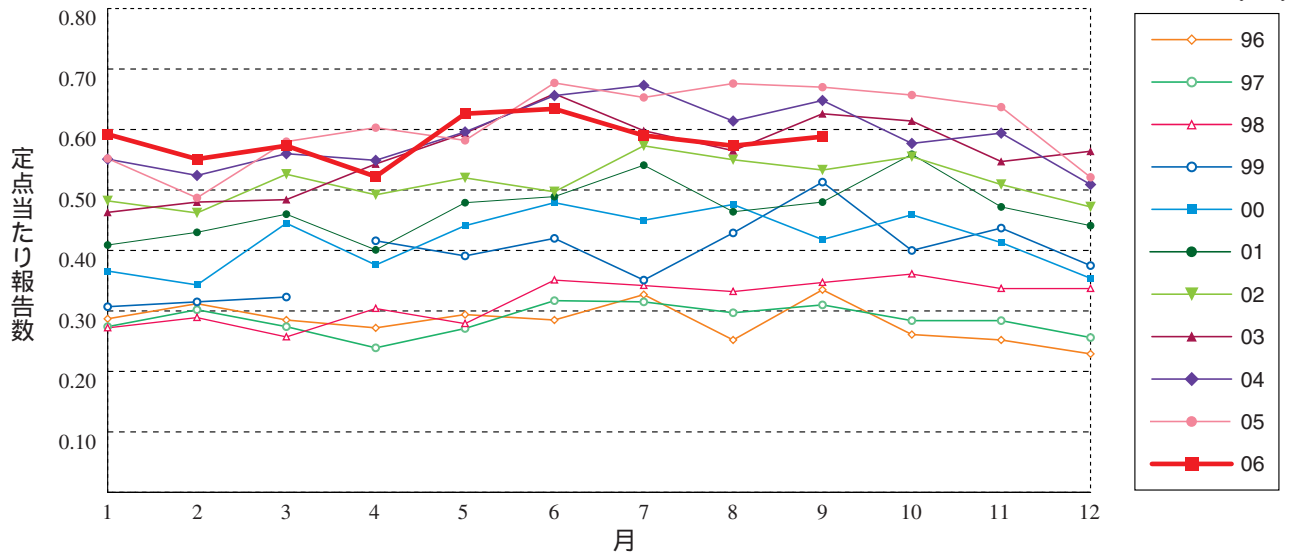
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



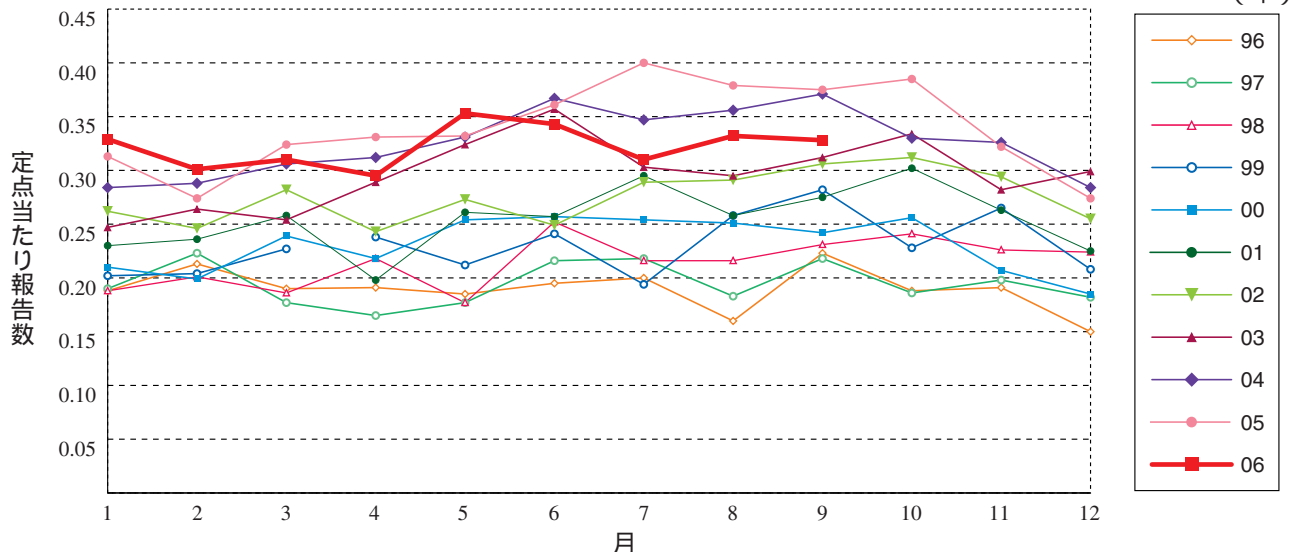
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



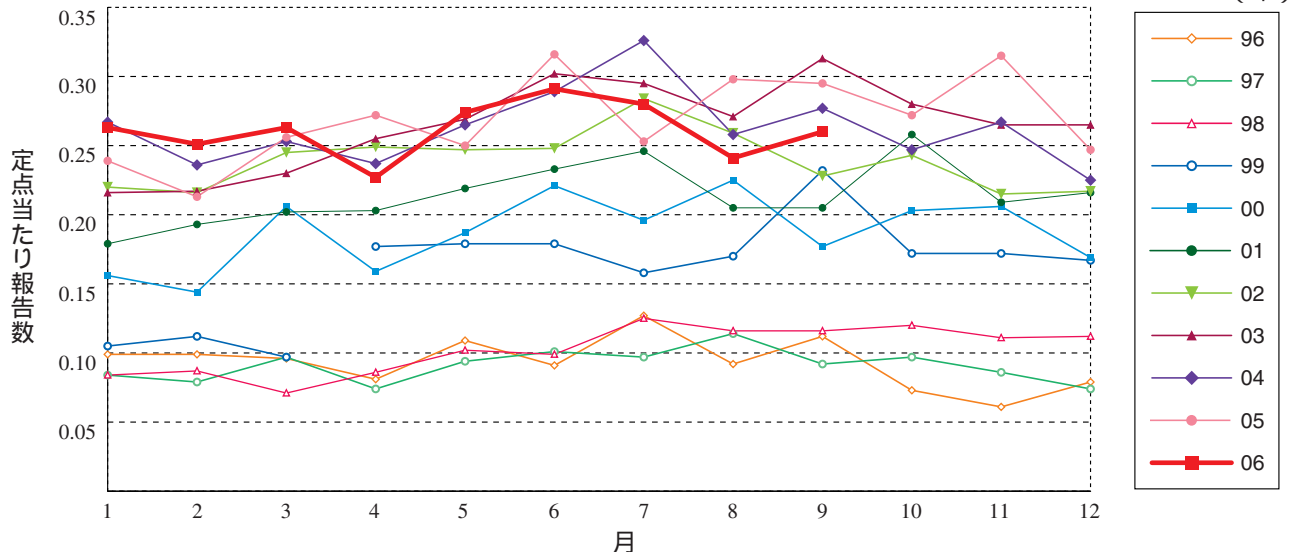
尖圭コンジローマ ( 総数 )



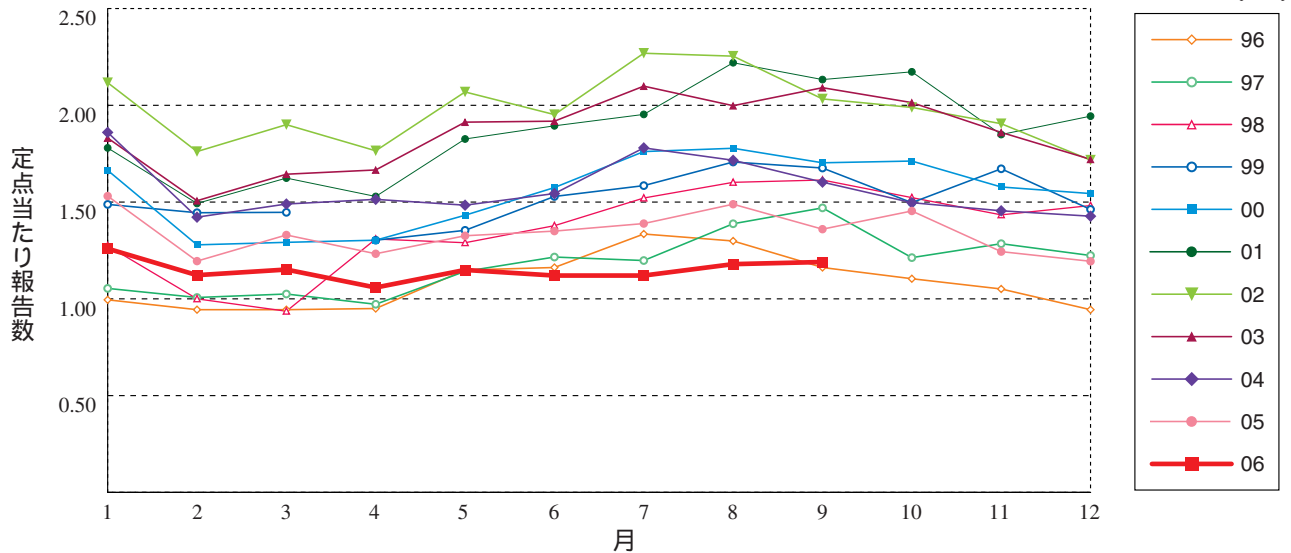
尖圭コンジローマ ( 男性 )



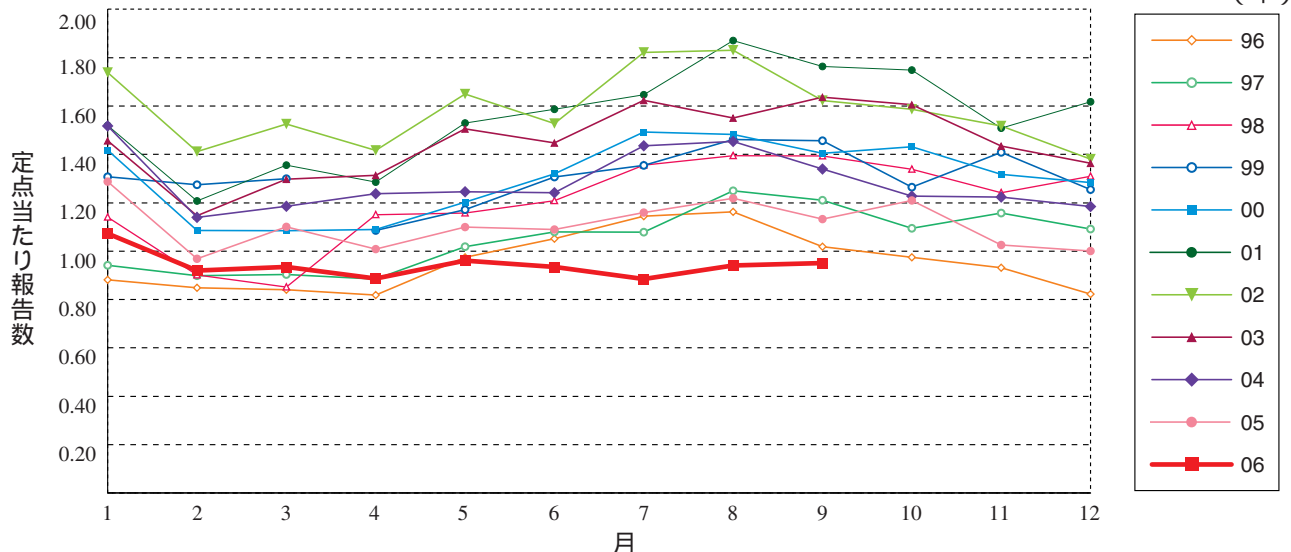
尖圭コンジローマ ( 女性 )



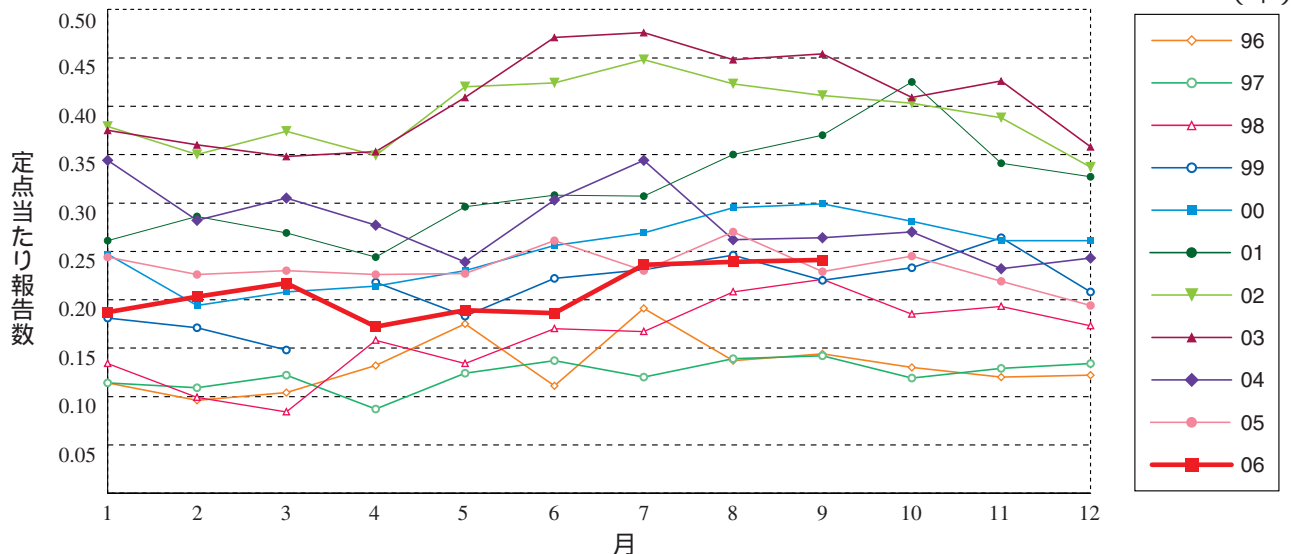
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

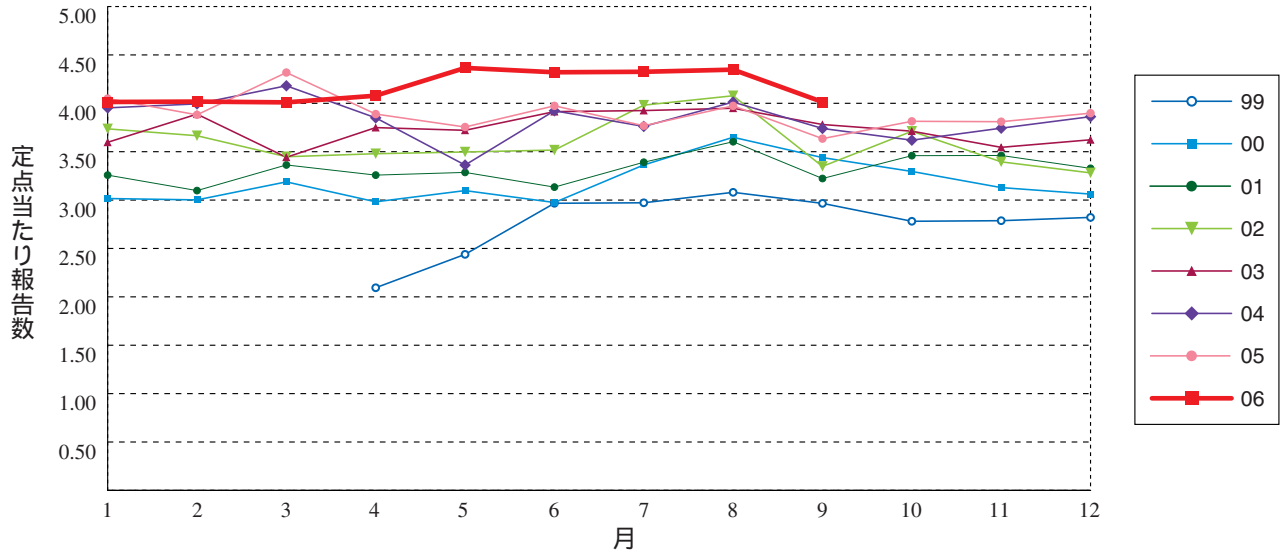


淋菌感染症 (女性)



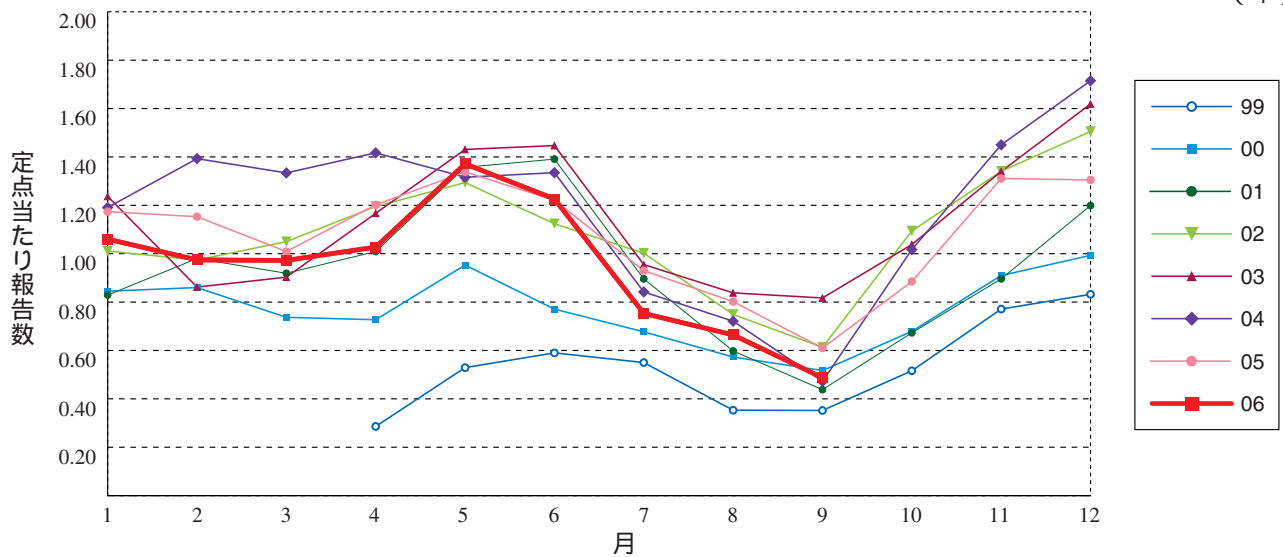
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



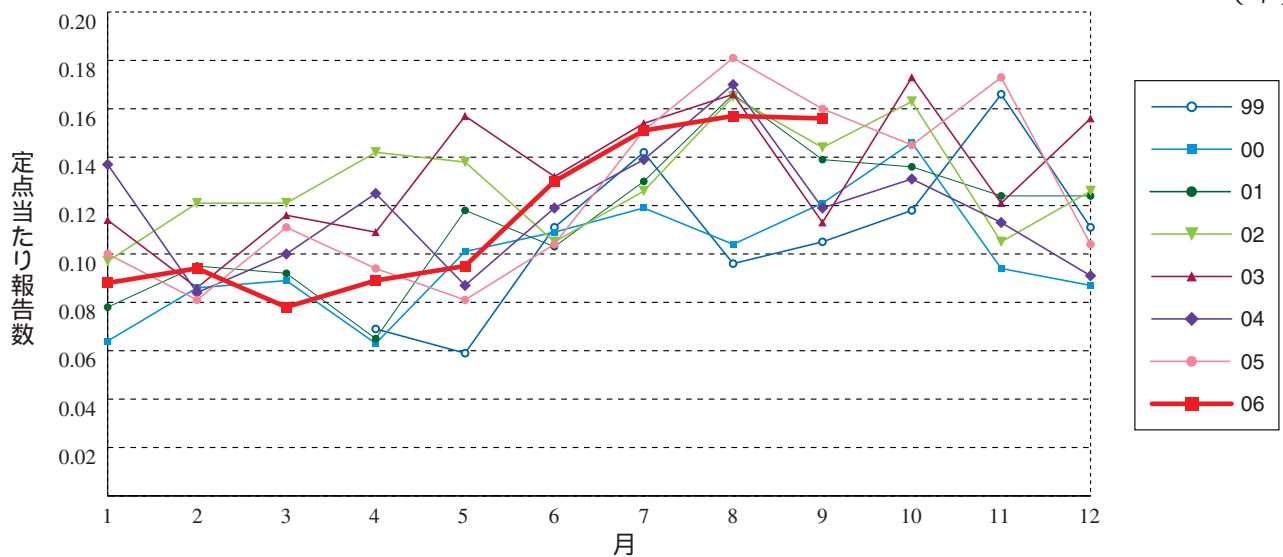
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





## 9月のデータ

注)10月11日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

2006年9月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	2739	2.88	880	0.93	559	0.59	1132	1.19	1822	4.01	221	0.49	71	0.16
北海道	207	4.93	60	1.43	33	0.79	38	0.90	49	2.13	5	0.22	3	0.13
青森県	36	2.25	7	0.44	6	0.38	18	1.13	5	0.71	-	-	1	0.14
岩手県	42	3.23	9	0.69	10	0.77	17	1.31	87	4.58	3	0.16	-	-
宮城県	65	3.42	23	1.21	22	1.16	23	1.21	41	3.42	2	0.17	8	0.67
秋田県	29	2.07	5	0.36	8	0.57	14	1.00	28	3.50	2	0.25	-	-
山形県	23	2.30	6	0.60	5	0.50	7	0.70	36	3.60	6	0.60	1	0.10
福島県	75	3.13	16	0.67	11	0.46	33	1.38	54	7.71	2	0.29	6	0.86
茨城県	135	6.43	22	1.05	7	0.33	19	0.90	23	3.29	-	-	1	0.14
栃木県	50	3.13	25	1.56	17	1.06	32	2.00	64	9.14	2	0.29	-	-
群馬県	86	3.31	24	0.92	16	0.62	29	1.12	26	3.25	2	0.25	-	-
埼玉県	154	2.91	42	0.79	28	0.53	32	0.60	19	2.11	6	0.67	1	0.11
千葉県	87	2.29	26	0.68	18	0.47	35	0.92	42	4.67	33	3.67	1	0.11
東京都	147	3.77	93	2.38	47	1.21	72	1.85	138	5.52	26	1.04	2	0.08
神奈川県	119	2.20	43	0.80	19	0.35	65	1.20	13	1.63	4	0.50	3	0.38
新潟県	32	2.00	13	0.81	11	0.69	16	1.00	66	5.08	8	0.62	2	0.15
富山県	17	1.70	7	0.70	5	0.50	5	0.50	31	6.20	16	3.20	1	0.20
石川県	14	1.40	10	1.00	3	0.30	12	1.20	19	3.80	-	-	1	0.20
福井県	13	2.60	4	0.80	-	-	3	0.60	13	2.17	3	0.50	2	0.33
山梨県	15	1.67	4	0.44	8	0.89	6	0.67	12	1.20	1	0.10	1	0.10
長野県	49	3.06	9	0.56	4	0.25	14	0.88	23	2.09	1	0.09	1	0.09
岐阜県	25	1.67	5	0.33	5	0.33	16	1.07	30	6.00	2	0.40	-	-
静岡県	62	2.07	13	0.43	9	0.30	17	0.57	67	6.70	11	1.10	4	0.40
愛知県	157	2.62	31	0.52	41	0.68	92	1.53	61	4.69	1	0.08	-	-
三重県	29	1.93	3	0.20	-	-	11	0.73	40	5.00	-	-	-	-
滋賀県	6	0.67	1	0.11	3	0.33	8	0.89	34	5.67	1	0.17	-	-
京都府	39	1.70	11	0.48	2	0.09	6	0.26	17	2.43	-	-	-	-
大阪府	308	4.89	137	2.17	83	1.32	142	2.25	48	3.69	5	0.38	1	0.08
兵庫県	110	2.44	38	0.84	29	0.64	36	0.80	40	3.64	3	0.27	-	-
奈良県	14	1.56	-	-	-	-	8	0.89	26	4.33	1	0.17	4	0.67
和歌山県	7	0.88	5	0.63	9	1.13	3	0.38	37	3.36	2	0.18	2	0.18
鳥取県	8	1.60	3	0.60	2	0.40	3	0.60	14	2.80	-	-	-	-
島根県	6	1.00	1	0.17	1	0.17	7	1.17	52	6.50	4	0.50	2	0.25
岡山県	70	3.04	16	0.70	10	0.43	30	1.30	12	2.40	1	0.20	-	-
広島県	50	2.17	17	0.74	14	0.61	23	1.00	123	5.86	16	0.76	5	0.24
山口県	31	3.10	16	1.60	2	0.20	19	1.90	61	6.78	4	0.44	1	0.11
徳島県	13	1.63	5	0.63	3	0.38	9	1.13	26	4.33	-	-	-	-
香川県	27	1.80	10	0.67	11	0.73	17	1.13	27	5.40	5	1.00	3	0.60
愛媛県	23	2.09	9	0.82	4	0.36	8	0.73	17	2.83	-	-	-	-
高知県	3	0.50	-	-	-	-	1	0.17	44	6.29	5	0.71	3	0.43
福岡県	129	3.49	43	1.16	17	0.46	77	2.08	22	1.47	6	0.40	-	-
佐賀県	13	1.86	3	0.43	4	0.57	10	1.43	12	2.00	1	0.17	-	-
長崎県	18	1.80	10	1.00	3	0.30	6	0.60	27	2.70	3	0.30	2	0.20
熊本県	69	5.31	7	0.54	8	0.62	27	2.08	54	3.60	1	0.07	1	0.07
大分県	9	0.90	17	1.70	3	0.30	4	0.40	52	4.73	10	0.91	5	0.45
宮崎県	37	3.36	8	0.73	6	0.55	19	1.73	31	4.43	5	0.71	1	0.14
鹿児島県	51	3.19	19	1.19	7	0.44	39	2.44	21	1.75	2	0.17	2	0.17
沖縄県	30	2.50	4	0.33	5	0.42	4	0.33	38	5.43	10	1.43	-	-



報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

2006年9月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1184	1.25	341	0.36	312	0.33	903	0.95	1118	2.46	130	0.29	47	0.10
北海道	45	1.07	8	0.19	12	0.29	22	0.52	28	1.22	1	0.04	3	0.13
青森県	13	0.81	5	0.31	4	0.25	17	1.06	4	0.57	-	-	1	0.14
岩手県	19	1.46	4	0.31	10	0.77	14	1.08	49	2.58	3	0.16	-	-
宮城県	28	1.47	9	0.47	14	0.74	19	1.00	27	2.25	2	0.17	6	0.50
秋田県	15	1.07	4	0.29	5	0.36	13	0.93	16	2.00	1	0.13	-	-
山形県	6	0.60	-	-	2	0.20	5	0.50	20	2.00	6	0.60	-	-
福島県	35	1.46	3	0.13	6	0.25	31	1.29	33	4.71	2	0.29	1	0.14
茨城県	64	3.05	8	0.38	5	0.24	7	0.33	17	2.43	-	-	1	0.14
栃木県	29	1.81	17	1.06	15	0.94	31	1.94	35	5.00	1	0.14	-	-
群馬県	36	1.38	5	0.19	7	0.27	19	0.73	21	2.63	1	0.13	-	-
埼玉県	41	0.77	9	0.17	16	0.30	24	0.45	12	1.33	4	0.44	-	-
千葉県	33	0.87	10	0.26	11	0.29	29	0.76	35	3.89	20	2.22	-	-
東京都	69	1.77	46	1.18	36	0.92	69	1.77	76	3.04	15	0.60	2	0.08
神奈川県	73	1.35	21	0.39	7	0.13	63	1.17	10	1.25	3	0.38	3	0.38
新潟県	14	0.88	6	0.38	4	0.25	15	0.94	42	3.23	4	0.31	2	0.15
富山県	6	0.60	1	0.10	-	-	5	0.50	16	3.20	9	1.80	1	0.20
石川県	12	1.20	1	0.10	2	0.20	10	1.00	12	2.40	-	-	1	0.20
福井県	8	1.60	4	0.80	-	-	3	0.60	7	1.17	2	0.33	2	0.33
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1.00	1	0.10	-	-
長野県	24	1.50	6	0.38	1	0.06	11	0.69	15	1.36	1	0.09	1	0.09
岐阜県	9	0.60	3	0.20	4	0.27	14	0.93	18	3.60	1	0.20	-	-
静岡県	31	1.03	5	0.17	3	0.10	14	0.47	36	3.60	7	0.70	2	0.20
愛知県	115	1.92	19	0.32	32	0.53	86	1.43	40	3.08	-	-	-	-
三重県	9	0.60	3	0.20	-	-	11	0.73	24	3.00	-	-	-	-
滋賀県	2	0.22	-	-	-	-	7	0.78	25	4.17	-	-	-	-
京都府	6	0.26	-	-	-	-	3	0.13	11	1.57	-	-	-	-
大阪府	122	1.94	62	0.98	38	0.60	90	1.43	30	2.31	4	0.31	1	0.08
兵庫県	51	1.13	19	0.42	24	0.53	34	0.76	20	1.82	1	0.09	-	-
奈良県	7	0.78	-	-	-	-	8	0.89	15	2.50	-	-	2	0.33
和歌山県	3	0.38	1	0.13	7	0.88	1	0.13	22	2.00	1	0.09	2	0.18
鳥取県	3	0.60	2	0.40	1	0.20	3	0.60	4	0.80	-	-	-	-
島根県	4	0.67	-	-	1	0.17	7	1.17	35	4.38	4	0.50	1	0.13
岡山県	31	1.35	4	0.17	3	0.13	24	1.04	7	1.40	1	0.20	-	-
広島県	17	0.74	5	0.22	1	0.04	14	0.61	76	3.62	8	0.38	4	0.19
山口県	13	1.30	2	0.20	1	0.10	17	1.70	37	4.11	1	0.11	-	-
徳島県	6	0.75	2	0.25	3	0.38	8	1.00	18	3.00	-	-	-	-
香川県	10	0.67	5	0.33	10	0.67	10	0.67	15	3.00	1	0.20	1	0.20
愛媛県	8	0.73	4	0.36	1	0.09	8	0.73	9	1.50	-	-	-	-
高知県	2	0.33	-	-	-	-	-	-	25	3.57	4	0.57	3	0.43
福岡県	68	1.84	15	0.41	9	0.24	61	1.65	12	0.80	3	0.20	-	-
佐賀県	8	1.14	1	0.14	3	0.43	8	1.14	9	1.50	1	0.17	-	-
長崎県	11	1.10	1	0.10	3	0.30	6	0.60	15	1.50	3	0.30	-	-
熊本県	15	1.15	1	0.08	3	0.23	19	1.46	36	2.40	1	0.07	1	0.07
大分県	6	0.60	5	0.50	1	0.10	3	0.30	38	3.45	6	0.55	4	0.36
宮崎県	16	1.45	1	0.09	3	0.27	16	1.45	20	2.86	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	34	2.13	12	0.75	2	0.13	22	1.38	16	1.33	-	-	1	0.08
沖縄県	7	0.58	2	0.17	2	0.17	2	0.17	20	2.86	6	0.86	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

2006年9月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1555	1.64	539	0.57	247	0.26	229	0.24	704	1.55	91	0.20	24	0.05
北海道	162	3.86	52	1.24	21	0.50	16	0.38	21	0.91	4	0.17	-	-
青森県	23	1.44	2	0.13	2	0.13	1	0.06	1	0.14	-	-	-	-
岩手県	23	1.77	5	0.38	-	-	3	0.23	38	2.00	-	-	-	-
宮城県	37	1.95	14	0.74	8	0.42	4	0.21	14	1.17	-	-	2	0.17
秋田県	14	1.00	1	0.07	3	0.21	1	0.07	12	1.50	1	0.13	-	-
山形県	17	1.70	6	0.60	3	0.30	2	0.20	16	1.60	-	-	1	0.10
福島県	40	1.67	13	0.54	5	0.21	2	0.08	21	3.00	-	-	5	0.71
茨城県	71	3.38	14	0.67	2	0.10	12	0.57	6	0.86	-	-	-	-
栃木県	21	1.31	8	0.50	2	0.13	1	0.06	29	4.14	1	0.14	-	-
群馬県	50	1.92	19	0.73	9	0.35	10	0.38	5	0.63	1	0.13	-	-
埼玉県	113	2.13	33	0.62	12	0.23	8	0.15	7	0.78	2	0.22	1	0.11
千葉県	54	1.42	16	0.42	7	0.18	6	0.16	7	0.78	13	1.44	1	0.11
東京都	78	2.00	47	1.21	11	0.28	3	0.08	62	2.48	11	0.44	-	-
神奈川県	46	0.85	22	0.41	12	0.22	2	0.04	3	0.38	1	0.13	-	-
新潟県	18	1.13	7	0.44	7	0.44	1	0.06	24	1.85	4	0.31	-	-
富山県	11	1.10	6	0.60	5	0.50	-	-	15	3.00	7	1.40	-	-
石川県	2	0.20	9	0.90	1	0.10	2	0.20	7	1.40	-	-	-	-
福井県	5	1.00	-	-	-	-	-	-	6	1.00	1	0.17	-	-
山梨県	15	1.67	4	0.44	8	0.89	6	0.67	2	0.20	-	-	1	0.10
長野県	25	1.56	3	0.19	3	0.19	3	0.19	8	0.73	-	-	-	-
岐阜県	16	1.07	2	0.13	1	0.07	2	0.13	12	2.40	1	0.20	-	-
静岡県	31	1.03	8	0.27	6	0.20	3	0.10	31	3.10	4	0.40	2	0.20
愛知県	42	0.70	12	0.20	9	0.15	6	0.10	21	1.62	1	0.08	-	-
三重県	20	1.33	-	-	-	-	-	-	16	2.00	-	-	-	-
滋賀県	4	0.44	1	0.11	3	0.33	1	0.11	9	1.50	1	0.17	-	-
京都府	33	1.43	11	0.48	2	0.09	3	0.13	6	0.86	-	-	-	-
大阪府	186	2.95	75	1.19	45	0.71	52	0.83	18	1.38	1	0.08	-	-
兵庫県	59	1.31	19	0.42	5	0.11	2	0.04	20	1.82	2	0.18	-	-
奈良県	7	0.78	-	-	-	-	-	-	11	1.83	1	0.17	2	0.33
和歌山県	4	0.50	4	0.50	2	0.25	2	0.25	15	1.36	1	0.09	-	-
鳥取県	5	1.00	1	0.20	1	0.20	-	-	10	2.00	-	-	-	-
島根県	2	0.33	1	0.17	-	-	-	-	17	2.13	-	-	1	0.13
岡山県	39	1.70	12	0.52	7	0.30	6	0.26	5	1.00	-	-	-	-
広島県	33	1.43	12	0.52	13	0.57	9	0.39	47	2.24	8	0.38	1	0.05
山口県	18	1.80	14	1.40	1	0.10	2	0.20	24	2.67	3	0.33	1	0.11
徳島県	7	0.88	3	0.38	-	-	1	0.13	8	1.33	-	-	-	-
香川県	17	1.13	5	0.33	1	0.07	7	0.47	12	2.40	4	0.80	2	0.40
愛媛県	15	1.36	5	0.45	3	0.27	-	-	8	1.33	-	-	-	-
高知県	1	0.17	-	-	-	-	1	0.17	19	2.71	1	0.14	-	-
福岡県	61	1.65	28	0.76	8	0.22	16	0.43	10	0.67	3	0.20	-	-
佐賀県	5	0.71	2	0.29	1	0.14	2	0.29	3	0.50	-	-	-	-
長崎県	7	0.70	9	0.90	-	-	-	-	12	1.20	-	-	2	0.20
熊本県	54	4.15	6	0.46	5	0.38	8	0.62	18	1.20	-	-	-	-
大分県	3	0.30	12	1.20	2	0.20	1	0.10	14	1.27	4	0.36	1	0.09
宮崎県	21	1.91	7	0.64	3	0.27	3	0.27	11	1.57	4	0.57	-	-
鹿児島県	17	1.06	7	0.44	5	0.31	17	1.06	5	0.42	2	0.17	1	0.08
沖縄県	23	1.92	2	0.17	3	0.25	2	0.17	18	2.57	4	0.57	-	-

注 )10月24日集計分

新登録患者数・都道府県別

2006年9月

	結核
	報告数
総数	2059
北海道	48
青森県	22
岩手県	13
宮城県	22
秋田県	12
山形県	19
福島県	22
茨城県	28
栃木県	25
群馬県	27
埼玉県	108
千葉県	101
東京都	239
神奈川県	141
新潟県	30
富山県	22
石川県	10
福井県	7
山梨県	10
長野県	17
岐阜県	50
静岡県	56
愛知県	134
三重県	33
滋賀県	21
京都府	41
大阪府	251
兵庫県	100
奈良県	14
和歌山県	21
鳥取県	12
島根県	6
岡山県	27
広島県	29
山口県	30
徳島県	17
香川県	18
愛媛県	19
高知県	11
福岡県	90
佐賀県	12
長崎県	33
熊本県	19
大分県	27
宮崎県	11
鹿児島県	31
沖縄県	23



41週 の データ

注1)表中の報告数は10月19日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。  
 2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。  
 注2)また報告システム変更の影響により、ここの「累積」においては漏れている報告例もありますが、近いうちにそれらも反映する予定です。  
 \*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2006年41週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器症候群*		痘 そう		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年41週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		エキノコックス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	6	398	-	-	-	60	-	21	59	3286	-	56	-	-	1	288	-	18
北海道	-	2	-	-	-	1	-	-	6	69	-	16	-	-	-	13	-	17
青森県	-	3	-	-	-	-	-	-	2	53	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	5	-	-	-	-	-	-	1	46	-	2	-	-	-	4	-	-
秋田県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	74	-	-	-	-	-	3	-	-
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	5	42	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	29	-	1	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	13	-	2	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	2	123	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	9	-	-	-	4	-	-	1	87	-	-	-	-	-	10	-	-
千葉県	2	63	-	-	-	5	-	1	-	113	-	1	-	-	-	3	-	-
東京都	2	51	-	-	-	16	-	11	2	232	-	3	-	-	-	26	-	-
神奈川県	1	22	-	-	-	8	-	1	8	175	-	7	-	-	-	11	-	-
新潟県	-	10	-	-	-	1	-	-	2	33	-	2	-	-	-	15	-	-
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	3	116	-	1	-	-	-	2	-	-
石川県	-	16	-	-	-	-	-	-	3	66	-	-	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	35	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	6	-	-	-	1	-	2	-	34	-	3	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	2	-	-	1	103	-	-	-	-	-	8	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	1	-	-	2	95	-	-	-	-	-	7	-	-
愛知県	-	26	-	-	-	5	-	3	3	176	-	3	-	-	-	16	-	-
三重県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	1	-	1
滋賀県	-	4	-	-	-	-	-	-	1	42	-	1	-	-	-	21	-	-
京都府	-	3	-	-	-	1	-	-	-	73	-	3	-	-	-	9	-	-
大阪府	-	83	-	-	-	6	-	2	1	230	-	-	-	-	1	45	-	-
兵庫県	-	15	-	-	-	-	-	1	3	134	-	1	-	-	-	18	-	-
奈良県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	110	-	1	-	-	-	14	-	-
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	3	87	-	1	-	-	-	7	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	39	-	1	-	-	-	5	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	6	-	-	-	2	-	-	-	16	-	-	-	-	-	4	-	-
高知県	-	2	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	26	-	-	-	2	-	-	5	174	-	1	-	-	-	8	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	77	-	-	-	-	-	2	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	58	-	-	-	-	-	8	-	-
熊本県	-	4	-	-	-	-	-	-	3	76	-	5	-	-	-	3	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	106	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	35	-	-	-	-	-	2	-	-
沖縄県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	1	-	-



報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年41週

	黄熱		オウム病		回帰熱		Q熱		狂犬病		高病原性鳥インフルエンザ		コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	18	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年41週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス 感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	178	1	43	-	-	-	28	2	5	-	-	-	-	-	4
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	4	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	31	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年41週

	発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	2	2	51	-	-	-	9	-	-	6	395	-	10	4	587
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9	-	-	-	17
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	1	10
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	1	6
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	23
千葉県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	28
東京都	-	-	-	-	-	11	-	-	-	2	-	-	-	50	-	4	-	150
神奈川県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-	-	20	-	-	-	61
新潟県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	22	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	17	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	4
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12	-	-	-	6
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	14
愛知県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3	35	-	-	1	40
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	8
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	6
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	20
大阪府	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	21	-	1	-	73
兵庫県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	15	-	1	-	34
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	7
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
高知県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	9
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	6
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1

\*E型肝炎およびA型肝炎を除く。  
 \*\*ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年41週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	6	222	1	131	1	14	2	134	-	90	15	1028	2	69	-	12	-	-
北海道	-	4	-	5	-	3	-	7	-	6	-	23	-	1	-	-	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	12	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-
福島県	-	3	-	2	-	-	-	2	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	7	-	-	-	1	-	2	1	27	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	5	-	-	-	2	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	1	-	-	-	4	-	4	-	9	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	4	-	7	-	-	-	5	-	3	-	28	1	2	-	1	-	-
千葉県	-	4	-	16	1	1	-	4	-	6	-	43	-	2	-	-	-	-
東京都	-	28	-	5	-	5	-	14	-	12	4	326	-	21	-	1	-	-
神奈川県	-	9	-	4	-	1	-	6	-	5	3	63	-	10	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	4	-	-	1	6	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
富山県	-	3	-	1	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	4	-	1	-	2	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	2	-	-	-	4	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
長野県	-	8	-	-	-	-	-	3	-	1	-	22	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	2	-	-	-	5	-	5	1	24	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	8	-	8	-	-	-	6	-	8	1	81	-	2	-	1	-	-
三重県	1	10	-	3	-	-	-	2	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	7	-	1	-	-	-	-
京都府	-	14	-	-	-	-	-	4	-	2	-	26	-	1	-	-	-	-
大阪府	1	20	-	10	-	1	-	10	-	5	2	117	-	10	-	1	-	-
兵庫県	-	22	-	4	-	-	-	4	-	7	1	42	-	1	-	-	-	-
奈良県	1	7	-	1	-	-	-	-	-	2	1	12	-	3	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	6	-	2	-	-	-	4	-	1	-	7	-	2	-	-	-	-
広島県	1	8	-	10	-	-	-	4	-	-	-	10	1	2	-	-	-	-
山口県	-	2	1	2	-	-	-	4	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	4	-	1	-	1	1	3	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
高知県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	11	-	9	-	-	-	7	-	-	1	30	-	4	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	9	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年41週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	5	481	4	94	-	-	2	57	-	-
北海道	-	8	1	5	-	-	-	2	-	-
青森県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	4	-	1	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	14	-	-	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	6	-	5	-	-	-	2	-	-
千葉県	1	13	-	7	-	-	-	2	-	-
東京都	1	102	-	7	-	-	2	13	-	-
神奈川県	-	15	-	4	-	-	-	7	-	-
新潟県	-	4	-	3	-	-	-	2	-	-
富山県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-
静岡県	1	12	-	2	-	-	-	4	-	-
愛知県	1	35	1	5	-	-	-	-	-	-
三重県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	6	-	1	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	30	-	2	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	19	1	3	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	3	-	5	-	-	-	1	-	-
広島県	-	7	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	25	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	26	-	-	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	32	-	5	-	-	-	1	-	-
大分県	-	6	-	3	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	7	-	5	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	16	1	7	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-



\*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年41週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	26	0.01	766	0.25	2956	0.98	10505	3.49	2164	0.72	2714	0.90	751	0.25	1805	0.60	37	0.01
北海道	2	0.01	59	0.41	250	1.75	172	1.20	129	0.90	222	1.55	31	0.22	62	0.43	-	-
青森県	-	-	8	0.19	26	0.62	57	1.36	40	0.95	31	0.74	8	0.19	24	0.57	-	-
岩手県	-	-	1	0.03	32	0.82	50	1.28	29	0.74	44	1.13	14	0.36	18	0.46	-	-
宮城県	1	0.01	4	0.07	51	0.84	168	2.75	50	0.82	21	0.34	27	0.44	44	0.72	-	-
秋田県	-	-	25	0.74	42	1.24	105	3.09	23	0.68	50	1.47	7	0.21	9	0.26	-	-
山形県	-	-	7	0.23	58	1.93	42	1.40	37	1.23	69	2.30	4	0.13	20	0.67	1	0.03
福島県	-	-	20	0.42	99	2.06	104	2.17	32	0.67	68	1.42	5	0.10	34	0.71	-	-
茨城県	-	-	15	0.20	114	1.52	111	1.48	42	0.56	26	0.35	15	0.20	36	0.48	-	-
栃木県	-	-	15	0.33	25	0.54	69	1.50	37	0.80	30	0.65	24	0.52	29	0.63	1	0.02
群馬県	-	-	19	0.31	74	1.19	204	3.29	89	1.44	48	0.77	7	0.11	42	0.68	-	-
埼玉県	-	-	29	0.18	189	1.17	593	3.68	150	0.93	236	1.47	68	0.42	105	0.65	1	0.01
千葉県	1	0.01	23	0.19	141	1.18	346	2.88	85	0.71	120	1.00	30	0.25	84	0.70	6	0.05
東京都	1	0.01	23	0.16	132	0.94	456	3.23	85	0.60	111	0.79	39	0.28	67	0.48	-	-
神奈川県	-	-	29	0.15	218	1.10	562	2.84	135	0.68	245	1.24	56	0.28	155	0.78	3	0.02
新潟県	-	-	13	0.22	91	1.52	77	1.28	31	0.52	140	2.33	10	0.17	25	0.42	-	-
富山県	-	-	10	0.34	39	1.34	106	3.66	16	0.55	52	1.79	10	0.34	20	0.69	-	-
石川県	-	-	5	0.17	34	1.17	104	3.59	27	0.93	81	2.79	9	0.31	23	0.79	-	-
福井県	-	-	4	0.18	32	1.45	161	7.32	23	1.05	6	0.27	6	0.27	10	0.45	2	0.09
山梨県	-	-	3	0.13	9	0.38	72	3.00	12	0.50	34	1.42	5	0.21	9	0.38	-	-
長野県	-	-	32	0.58	55	1.00	148	2.69	66	1.20	145	2.64	23	0.42	22	0.40	-	-
岐阜県	5	0.06	9	0.17	24	0.45	55	1.04	43	0.81	18	0.34	23	0.43	20	0.38	-	-
静岡県	-	-	22	0.26	65	0.76	481	5.59	80	0.93	89	1.03	25	0.29	59	0.69	-	-
愛知県	1	0.01	22	0.12	151	0.83	554	3.04	109	0.60	71	0.39	82	0.45	85	0.47	1	0.01
三重県	-	-	48	1.07	54	1.20	268	5.96	37	0.82	38	0.84	11	0.24	30	0.67	-	-
滋賀県	-	-	7	0.22	29	0.91	53	1.66	24	0.75	20	0.63	6	0.19	21	0.66	-	-
京都府	-	-	5	0.07	47	0.64	253	3.42	30	0.41	32	0.43	27	0.36	26	0.35	1	0.01
大阪府	2	0.01	54	0.29	189	1.01	731	3.89	119	0.63	197	1.05	31	0.16	122	0.65	5	0.03
兵庫県	-	-	9	0.07	67	0.52	484	3.78	58	0.45	43	0.34	31	0.24	94	0.73	4	0.03
奈良県	-	-	13	0.37	14	0.40	80	2.29	13	0.37	12	0.34	6	0.17	8	0.23	3	0.09
和歌山県	-	-	10	0.32	6	0.19	48	1.55	21	0.68	27	0.87	5	0.16	19	0.61	-	-
鳥取県	-	-	7	0.37	37	1.95	207	10.89	12	0.63	4	0.21	3	0.16	6	0.32	-	-
島根県	-	-	12	0.52	27	1.17	163	7.09	19	0.83	21	0.91	2	0.09	14	0.61	1	0.04
岡山県	-	-	10	0.19	17	0.31	149	2.76	62	1.15	10	0.19	2	0.04	23	0.43	1	0.02
広島県	-	-	30	0.42	54	0.75	392	5.44	24	0.33	5	0.07	14	0.19	32	0.44	1	0.01
山口県	-	-	12	0.24	89	1.82	245	5.00	16	0.33	3	0.06	7	0.14	38	0.78	-	-
徳島県	-	-	9	0.45	15	0.75	52	2.60	27	1.35	5	0.25	5	0.25	19	0.95	-	-
香川県	-	-	3	0.09	22	0.69	133	4.16	22	0.69	5	0.16	9	0.28	20	0.63	1	0.03
愛媛県	-	-	4	0.11	34	0.92	166	4.49	18	0.49	17	0.46	8	0.22	28	0.76	-	-
高知県	-	-	6	0.20	11	0.37	73	2.43	15	0.50	16	0.53	1	0.03	23	0.77	-	-
福岡県	-	-	24	0.20	137	1.14	714	5.95	80	0.67	62	0.52	12	0.10	87	0.73	5	0.04
佐賀県	-	-	7	0.30	10	0.43	71	3.09	4	0.17	20	0.87	5	0.22	33	1.43	-	-
長崎県	-	-	11	0.25	9	0.20	135	3.07	19	0.43	19	0.43	7	0.16	16	0.36	-	-
熊本県	-	-	4	0.08	28	0.58	380	7.92	34	0.71	23	0.48	3	0.06	30	0.63	-	-
大分県	10	0.17	30	0.83	43	1.19	272	7.56	41	1.14	39	1.08	2	0.06	34	0.94	-	-
宮崎県	-	-	15	0.41	33	0.89	217	5.86	52	1.41	57	1.54	12	0.32	39	1.05	-	-
鹿児島県	1	0.01	35	0.63	30	0.54	277	4.95	32	0.57	19	0.34	10	0.18	16	0.29	-	-
沖縄県	2	0.03	4	0.12	3	0.09	145	4.26	15	0.44	63	1.85	4	0.12	25	0.74	-	-

\*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年41週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	9	0.00	369	0.12	11	0.00	2634	0.88	11	0.02	500	0.79	6	0.01	22	0.05	204	0.45
北海道	-	-	26	0.18	-	-	134	0.94	-	-	13	0.45	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	5	0.12	-	-	72	1.71	-	-	4	0.36	-	-	-	-	8	1.33
岩手県	-	-	9	0.23	-	-	46	1.18	-	-	9	0.75	-	-	-	-	12	0.60
宮城県	1	0.02	39	0.64	-	-	61	1.00	1	0.08	5	0.42	-	-	-	-	14	1.17
秋田県	1	0.03	11	0.32	1	0.03	15	0.44	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.13
山形県	-	-	4	0.13	-	-	20	0.67	-	-	1	0.13	-	-	-	-	1	0.10
福島県	-	-	15	0.31	-	-	56	1.17	-	-	7	0.58	-	-	-	-	1	0.17
茨城県	-	-	9	0.12	1	0.01	33	0.44	-	-	30	2.00	-	-	-	-	8	1.14
栃木県	1	0.02	9	0.20	-	-	36	0.78	-	-	22	1.83	-	-	-	-	4	0.57
群馬県	-	-	6	0.10	-	-	80	1.29	1	0.07	38	2.71	-	-	-	-	9	1.13
埼玉県	1	0.01	20	0.12	1	0.01	106	0.66	-	-	26	0.67	-	-	1	0.11	8	0.89
千葉県	-	-	9	0.08	2	0.02	59	0.49	1	0.03	23	0.77	-	-	-	-	1	0.13
東京都	-	-	17	0.12	-	-	42	0.30	-	-	5	0.36	3	0.13	1	0.04	9	0.38
神奈川県	-	-	36	0.18	1	0.01	105	0.53	1	0.03	36	0.90	-	-	-	-	2	0.29
新潟県	-	-	9	0.15	-	-	242	4.03	-	-	4	0.40	-	-	-	-	10	0.83
富山県	-	-	4	0.14	-	-	12	0.41	-	-	5	0.71	-	-	-	-	4	0.80
石川県	-	-	2	0.07	-	-	9	0.31	-	-	3	0.43	-	-	1	0.20	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	2	0.09	-	-	-	-	-	-	1	0.17	2	0.33
山梨県	-	-	8	0.33	-	-	17	0.71	-	-	3	0.33	-	-	-	-	6	0.60
長野県	-	-	4	0.07	-	-	115	2.09	-	-	13	1.18	-	-	1	0.09	1	0.09
岐阜県	-	-	4	0.08	-	-	31	0.58	-	-	6	0.60	-	-	2	0.40	1	0.20
静岡県	-	-	10	0.12	-	-	100	1.16	-	-	5	0.25	-	-	-	-	10	1.00
愛知県	2	0.01	18	0.10	3	0.02	125	0.69	-	-	14	0.40	-	-	-	-	2	0.15
三重県	-	-	3	0.07	-	-	60	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	3	0.09	2	0.06	14	0.44	-	-	5	0.71	1	0.14	-	-	3	0.43
京都府	-	-	9	0.12	-	-	34	0.46	-	-	6	0.33	-	-	2	0.29	-	-
大阪府	1	0.01	13	0.07	-	-	181	0.96	-	-	17	0.39	-	-	1	0.08	27	2.25
兵庫県	2	0.02	5	0.04	-	-	154	1.20	-	-	18	0.51	1	0.08	1	0.08	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	13	0.37	-	-	2	0.22	-	-	3	0.50	2	0.33
和歌山県	-	-	-	-	-	-	27	0.87	-	-	1	0.25	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	-	-	2	0.11	-	-	17	0.89	-	-	2	0.67	-	-	1	0.20	1	0.20
島根県	-	-	1	0.04	-	-	37	1.61	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.13
岡山県	-	-	2	0.04	-	-	52	0.96	-	-	21	1.75	-	-	-	-	1	0.20
広島県	-	-	5	0.07	-	-	29	0.40	-	-	12	0.63	-	-	-	-	8	0.38
山口県	-	-	6	0.12	-	-	31	0.63	-	-	20	2.22	-	-	-	-	8	0.89
徳島県	-	-	1	0.05	-	-	20	1.00	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	2	0.06	-	-	23	0.72	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	2	0.05	-	-	17	0.46	-	-	36	4.50	-	-	-	-	2	0.33
高知県	-	-	2	0.07	-	-	36	1.20	-	-	3	1.00	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	8	0.07	-	-	97	0.81	1	0.04	21	0.81	-	-	-	-	3	0.20
佐賀県	-	-	3	0.13	-	-	3	0.13	-	-	1	0.25	-	-	1	0.17	2	0.33
長崎県	-	-	6	0.14	-	-	11	0.25	5	0.63	10	1.25	-	-	-	-	4	0.33
熊本県	-	-	8	0.17	-	-	32	0.67	-	-	15	1.67	-	-	1	0.07	6	0.40
大分県	-	-	5	0.14	-	-	42	1.17	-	-	4	0.80	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	1	0.03	-	-	53	1.43	1	0.25	11	2.75	1	0.14	5	0.71	2	0.29
鹿児島県	-	-	5	0.09	-	-	113	2.02	-	-	3	0.43	-	-	-	-	5	0.42
沖縄県	-	-	3	0.09	-	-	20	0.59	-	-	11	1.10	-	-	-	-	12	1.71

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2006年41週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	9	0.02	-	-	136
北海道	-	-	-	-	6
青森県	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-
宮城県	5	0.42	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	8
神奈川県	-	-	-	-	2
新潟県	2	0.17	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-
石川県	1	0.20	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	17
兵庫県	-	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	5
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-
広島県	-	-	-	-	7
山口県	-	-	-	-	13
徳島県	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	35
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	9
大分県	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	4

**獣医師が届出を行う感染症と対象動物**

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年41週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群( SARS )						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2006年41週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第8巻 第41号 2006年10月27日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 < 厚生労働省 >  
<http://www.forth.go.jp/>  
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。